

# JET 650LS

## PCツール取扱説明書

### 更新履歴

履歴			参照	
Rev.	内容	日付	ページ	備考
-	暫定版	2012.05.22		
A	変更 追加 削除	2012.08.10	17, 24-25, 27, 30, 32-35, 38, 40-41, 46, 49-51, 65-66	A
C	変更 (Rev.は本編に 統一)	2012.09.18	33-35	C
D	Rev.統一	2012.10.04		
E	変更	2012.10.18	5, 54	E

## 変更履歴詳細

### Rev. A

- P.17 画面イメージ差し替え
- P.24 画面イメージ差し替え
- P.25 種2の単一を単品に変更  
0円登録追加
- P.27 画面イメージ差し替え
- P.30 画面イメージ差し替え
- P.32 画面イメージ差し替え
- P.33 画面イメージ差し替え
- P.34 画面イメージ差し替え
- P.35 文言変更および入/出金登録削除
- P.38 控え印刷のするを選択に変更
- P.40 トップ/ボトムMSG 文言変更
- P.41 トップ/ボトムメッセージ文言変更
- P.46 文言修正
- P.49-51 画面イメージ差し替え
- P.65-66 画面イメージ差し替え

### Rev. C

- P.33,34 画面イメージ差し替え
- P.35 名称を設定不可とする。

### Rev. E

- P.5,54 画面イメージ差し替え

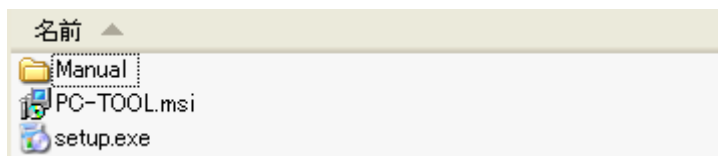
## 目次

1	はじめに	- 5 -
2	動作環境	- 5 -
3	概要	- 6 -
4	インストールについて	- 7 -
4.1	アンインストール	- 10 -
4.2	Windows Vista および Windows7 でのインストール時の注意点	- 11 -
5	バーコードについての注意事項 ( Windows 2000,XP )	- 12 -
6	動作説明	- 13 -
6.1	基本フォルダについて	- 13 -
6.2	データメンテナンス手順	- 15 -
6.3	レポート参照手順	- 18 -
7	動作説明	- 20 -
7.1	オープニング画面	- 20 -
7.2	選択画面	- 21 -
7.3	部門設定画面	- 24 -
7.4	PLU 設定画面	- 28 -
7.5	担当者設定画面	- 31 -
7.6	その他設定画面	- 33 -
7.7	[ダンプ]ボタンについて	- 43 -
7.8	[取り込み]ボタンについて	- 43 -
7.8.1	取り込み処理に必要なファイルの形式について	- 43 -
7.8.2	[ダンプ]ボタンで作成したファイルをエクセルを使用してメンテナンスして取り込みを行う場合の注意点	- 44 -
7.8.3	エクセルで CSV を作成する場合の注意点	- 47 -
7.9	入力グリッドについて	- 49 -
7.9.1	HELP 表示	- 49 -
7.9.2	選択範囲一括入力	- 50 -
7.10	レポートプレビュー画面	- 52 -
7.11	ロゴ画面	- 57 -
7.12	グラフィックデータの作成	- 60 -

## 1 はじめに

本ソフトは ECR のプログラムデータ修正、ロゴの作成、  
レポートデータの閲覧を PC 上で行うことを目的とするソフトウェアです。  
CD には下記のようなファイルが入っています。

E



## 2 動作環境

サポート OS

- 32bit

Microsoft Windows 2000(SP4 のみ) / Microsoft Windows XP / Microsoft Windows Vista / Microsoft Windows 7

- 64bit

Microsoft Windows XP / Microsoft Windows Vista / Microsoft Windows 7

64bitOS 上での PC-tool 動作

PC-tool のソフトウェアは 32bit アプリケーションとなります。

64bitOS 上で使用する場合は WOW64 (Windows 32-bit On Windows 64bit) にて動作します。

(WOW64 とは 64bitOS で 32bit のプログラムを動かす仕組み

(エミュレーション機能) です)

### 3 概要

本ソフトは大きく分類し2つの構成に分類されます。

ECR とのデータ受け渡しはSDカードを使用します。

設定データ . . . ECR PC

レポートデータ . . . ECR PC(CSV形式)

➤ ECR プログラムメンテナンス

部門、PLU、担当者、ロゴ等の設定データ修正を行います。

➤ ECR レポートプレビュー

部門別売上レポート、PLU 別売上レポート、ジャーナル等のレポートデータを画面に表示します。

#### 4 インストールについて

インストールは管理者権限のアカウントで行ってください。

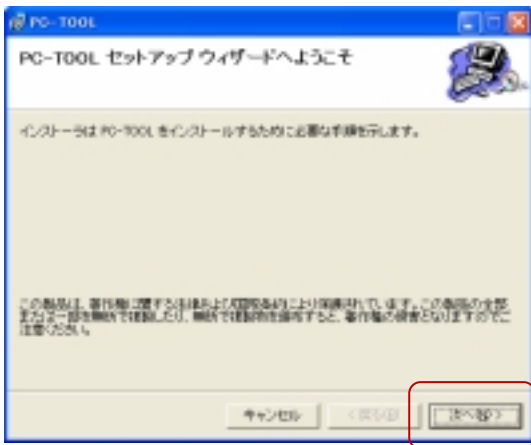
また、インストール後の PC-tool 使用も同様に管理者権限のアカウントで行ってください。

インストール環境には以下ランタイムファイルが含まれています。

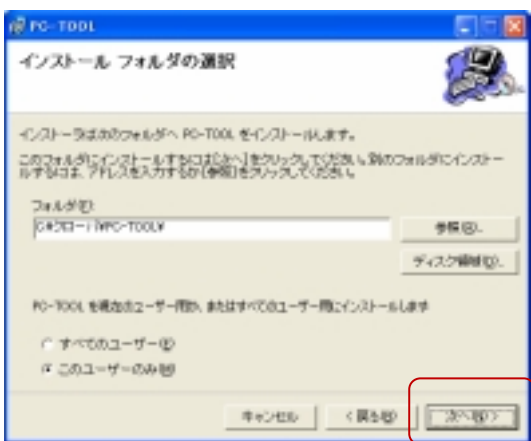
mschrt20.ocx バージョン : 6.0.88.4

CD に格納されている setup をクリックすると Pc-Tool のセットアップが開始されます。

インストールする前に以前の PC-tool がインストールされていたらアンインストールを行ってからインストールして下さい。手順は 4-1 項にあります。

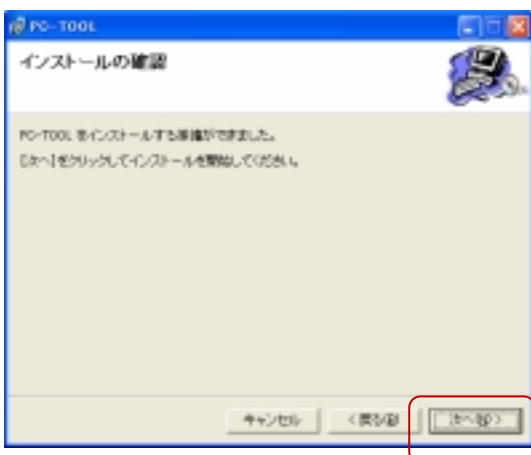


[次へ]を選択して下さい。



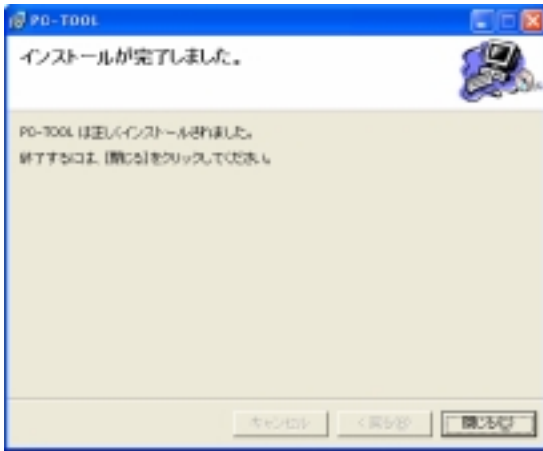
フォルダを変更される場合は任意のフォルダに変更してください。

インストール先については 4-2.Windows Vista および Windows 7 でのインストール時の注意点を参照下さい。インストール PC の全てのユーザーで PCTool を使用する場合は [すべてのユーザー] にチェックしなおして [次へ] を選択して下さい。

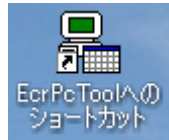


[次へ]を選択しインストールを開始して下さい。





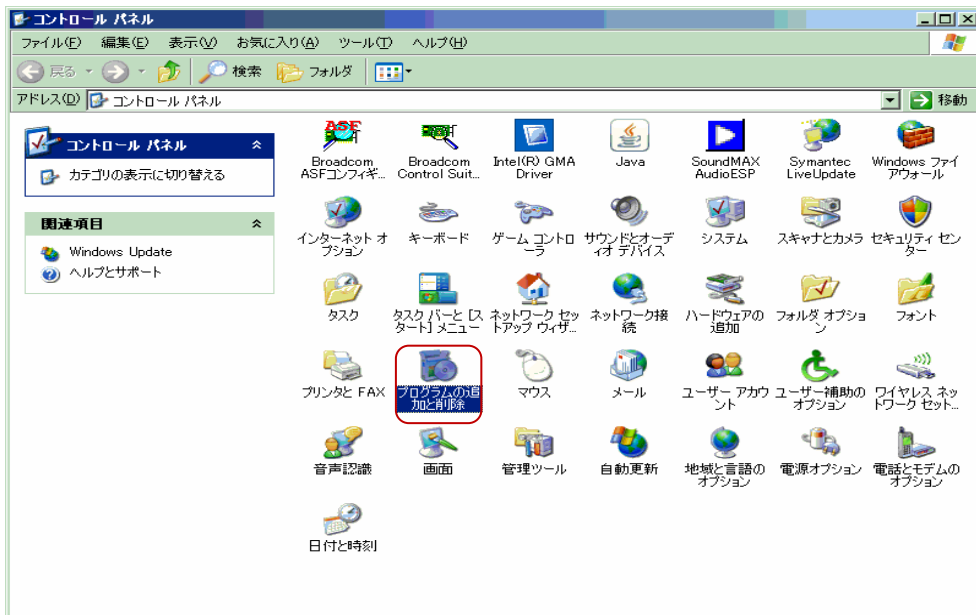
正常にインストールが完了すると左の画面が表示され、[閉じる]を押下するとデスクトップ上に EcrPcTool へのショートカットが作成されます。



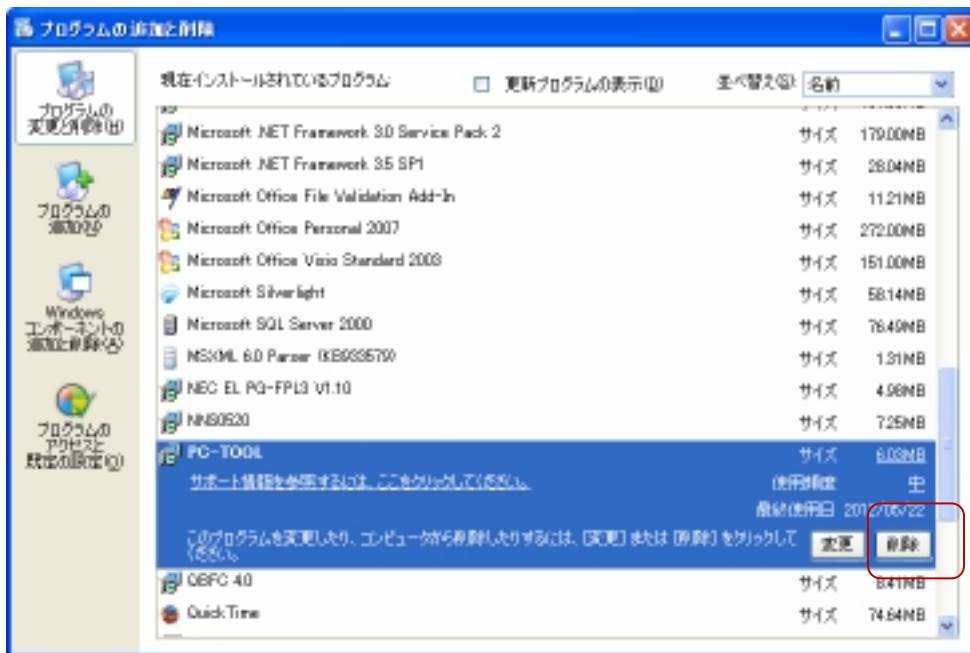
デスクトップ上の EcrPcTool へのショートカットをダブルクリックすると、オープニング画面が表示されます。

## 4.1 アンインストール

アンインストールは管理者権限のアカウントで行ってください。  
PCTool のアンインストールは [コントロールパネル] を選択して  
[プログラムの追加と削除]、又は [プログラムのアンインストール] を  
ダブルクリックします。



一覧から "PC-TOOL" を選択し、アンインストールを行います。



## 4.2 Windows Vista および Windows7 でのインストール時の注意点

Windows Vista および Windows 7 についてはインストール時に注意すべきことがあります。Windows Vista および Windows 7 では UAC(User Account Control)機能が存在します。Windows Vista および Windows 7 では C:¥Program Files フォルダ以下への書き込みがリダイレクトされます。

(リダイレクト先の例 : C:¥ユーザー¥[username]¥AppData¥Local¥VirtualStore  
¥Program Files¥クローバ¥PC-T00L¥PcTool.ini)

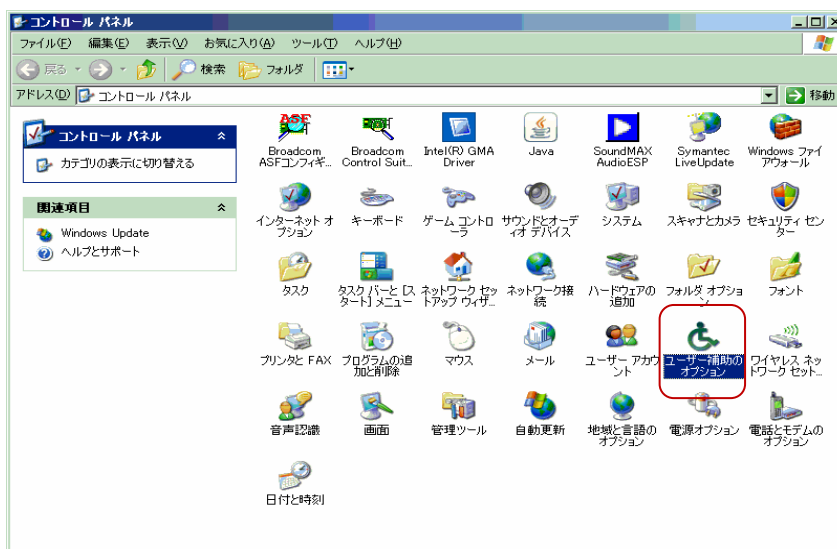
リダイレクトされるとアンインストール時に設定ファイル(PcTool.ini)が削除されません。

Windows Vista および Windows 7 についてはインストール時のインストール先を「C:¥Program Files」や「C:¥Windows」以下には指定しないようお願いいたします。また、データの格納対象フォルダについても同様に「C:¥Program Files」や「C:¥Windows」以下には保存しないようお願いいたします。

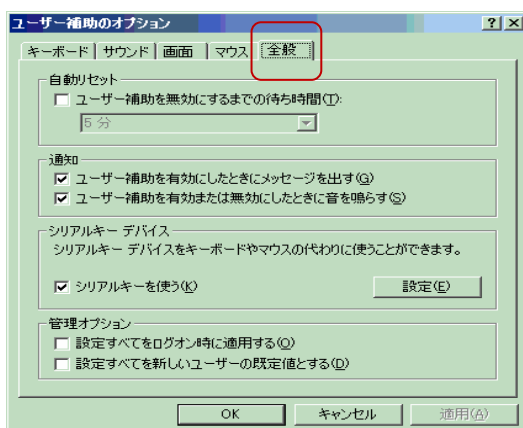
なお、インストール時にフォルダを変更されなかった場合は特に問題ございません。

## 5 バーコードについての注意事項 (Windows 2000,XP)

PLU コードをシリアル接続可能なバーコードスキャナーを使用して入力する場合 Windows の[コントロールパネル]-[ユーザー補助のオプション]の ” 全般 ” にある [シリアルキーデバイス]の設定を有効にしておく必要があります。(バーコード自体の設定は各バーコードにより異なりますのでお手持ちのバーコードの説明書を確認して下さい。)



選択



全般の[シリアルキーを使う]にチェックし [設定]ボタン内の項目も、お使いのバーコードの設定に合わせて設定して下さい。

Vista にはシリアルキー機能は含まれていません。解決方法については以下の「Replacement for SerialKeys」を参照してください。

<http://www.microsoft.com/enable/products/windowsvista/default.aspx>

## 6 動作説明

各画面の説明の前に構成と動作について詳しく説明します。

### 6.1 基本フォルダについて

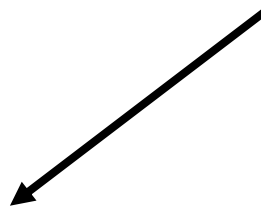
本ソフトはまずデータの格納対象フォルダを設定することから始まります。  
この設定したフォルダが作業フォルダとなります。この設定はオープニング画面の  
次にある選択画面の中にあります。

<オープニング>

<選択画面>



[フォルダ選択]を選択



任意のフォルダを選択すると、画面左上に選択したフォルダが常に表示されます。



再度フォルダ変更を行わない限り、このフォルダがデータの格納先、レポート表示元フォルダとして扱われます。

**(注意：SD カードを直接参照した場合、ECR が作成するフォルダの構成上データメンテナンスとレポート閲覧は同時には行えません。)**

## 6.2 データメンテナンス手順

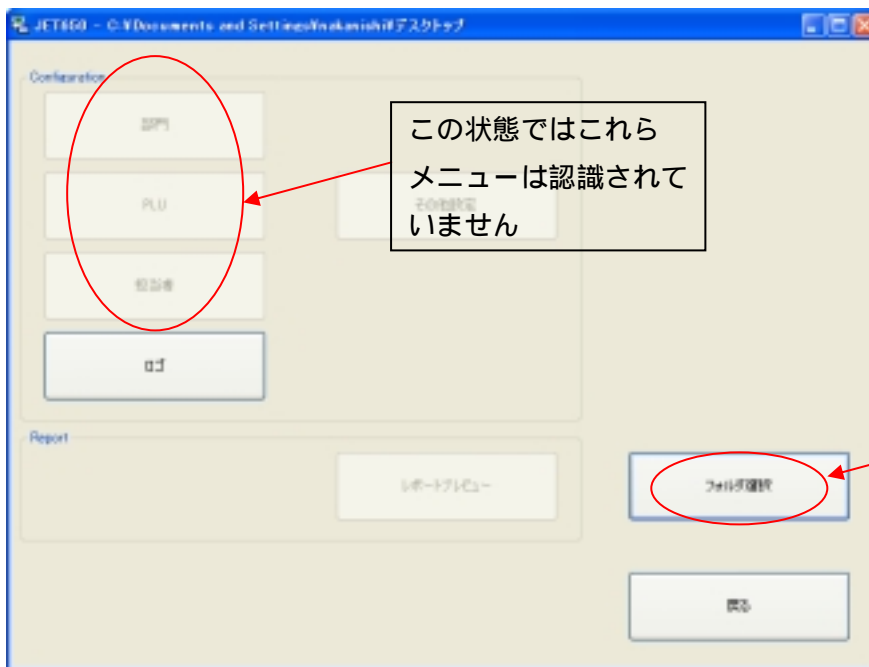
SDカードを用いたデータのメンテナンスの手順を説明します。

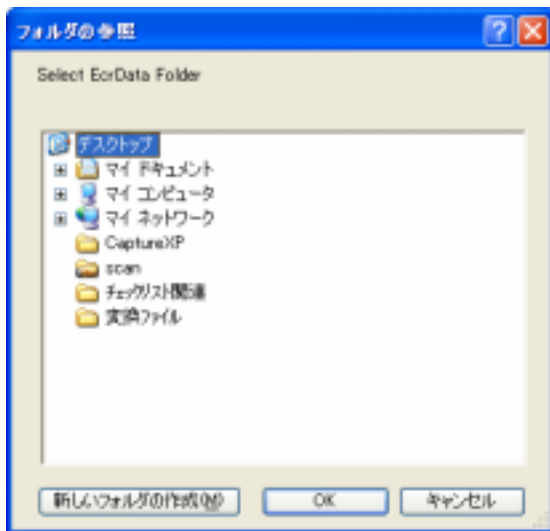
お使いの ECR によって、事前に設定データを SD カードにセーブしてください。

詳細は ECR 付属の取説をご参照ください。

この SD カードを PC に接続します。一般の PC では SD カードリーダーライターユニットなどが別途必要となります。ご購入いただきご準備ください。

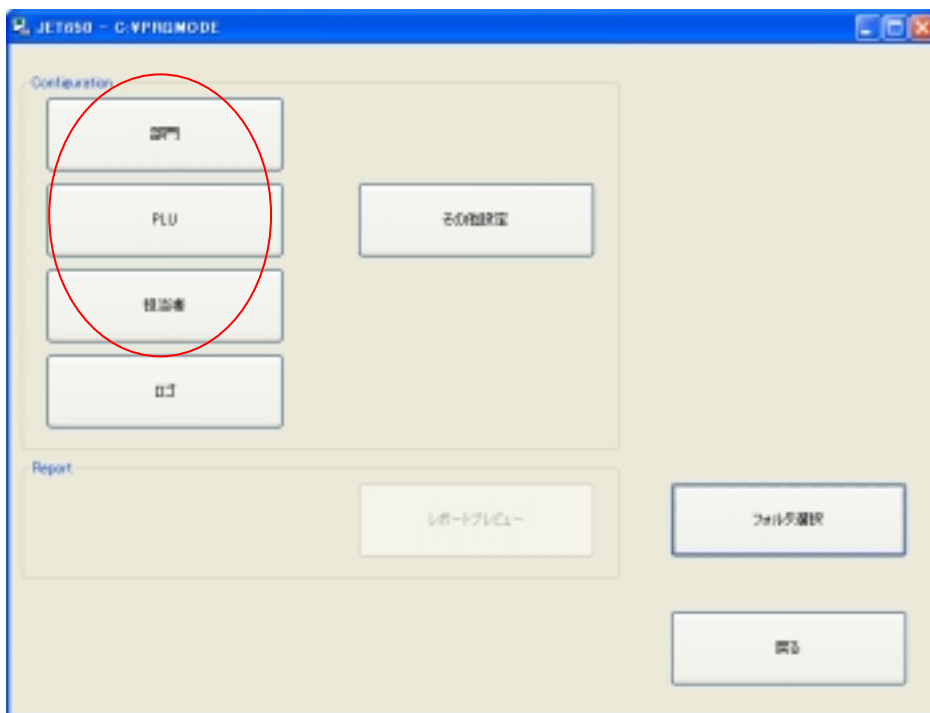
< 選択画面 >





左のフォルダ参照画面が表示されます。

「PRGMODE」を選び、「OK」ボタンをクリックします。

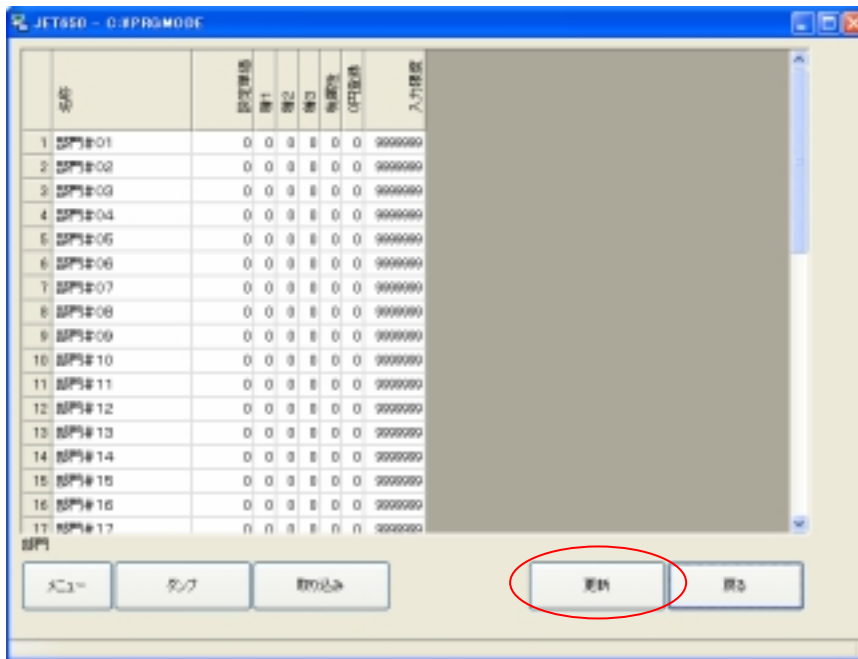


認識されていなかったメンテナンスボタンが濃く表示され、認識されたことを示します。

部門ボタンをクリックしてください。データが表示されます。



A



この後は対象のデータをメンテナンスしてください。  
更新を行えばそのまま SD カード上のデータに反映されます。

SD カードを PC から抜き ECR に戻し、SD カードからのロード機能を使用することで ECR のデータが更新されます。

注) SD カードの抜き取りは、お使いの SD カードリーダー/ライターユニットなどの取扱説明書に従ってください。

### 6.3 レポート参照手順

SD カードを用いた（売上）レポートの参照について説明します。

お使いの ECR によって、精算レポートを SD カードにセーブしてください。

詳細は ECR 付属の取説をご参照ください。

この SD カードを PC に接続します。一般の PC では SD カードリーダーライターユニットなどが別途必要となります。ご購入いただきご準備ください。

データメンテナンスの項での説明と同じようにこの段階ではレポートプレビューボタンが認識されません。



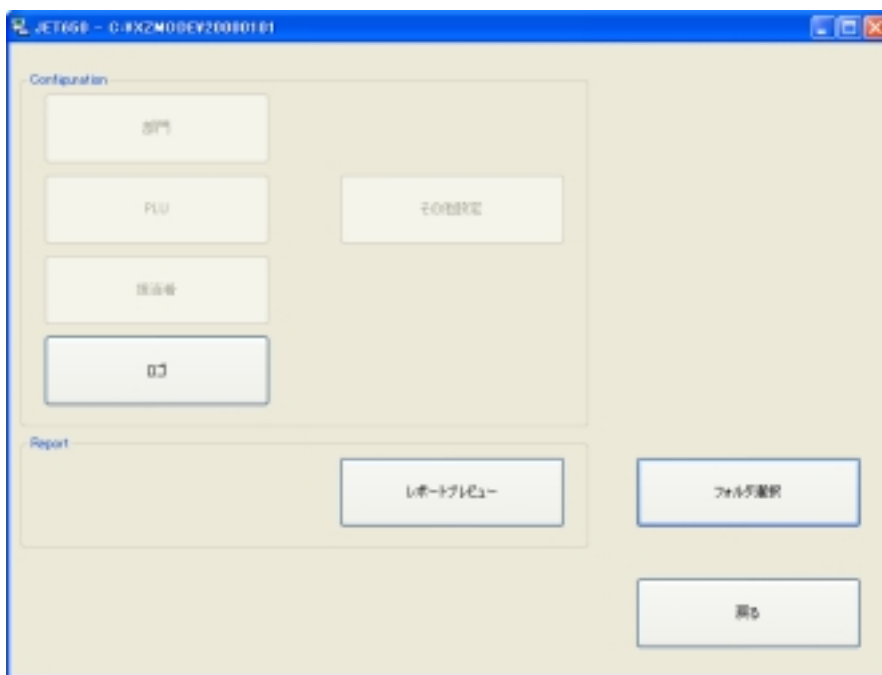
「フォルダ選択」ボタンを押し、認識されている SD カードのドライブから「XZMODE」を選択してください。そのフォルダにはさらに ECR でセーブした精算レポートのデータが格納されているフォルダがあります。

「20120521」のように ECR でセーブした日付情報がフォルダ名として作成されているはずです。

指定のフォルダを指定し「OK」ボタンをクリックしてください。

レポートプレビューボタンが認識されます。

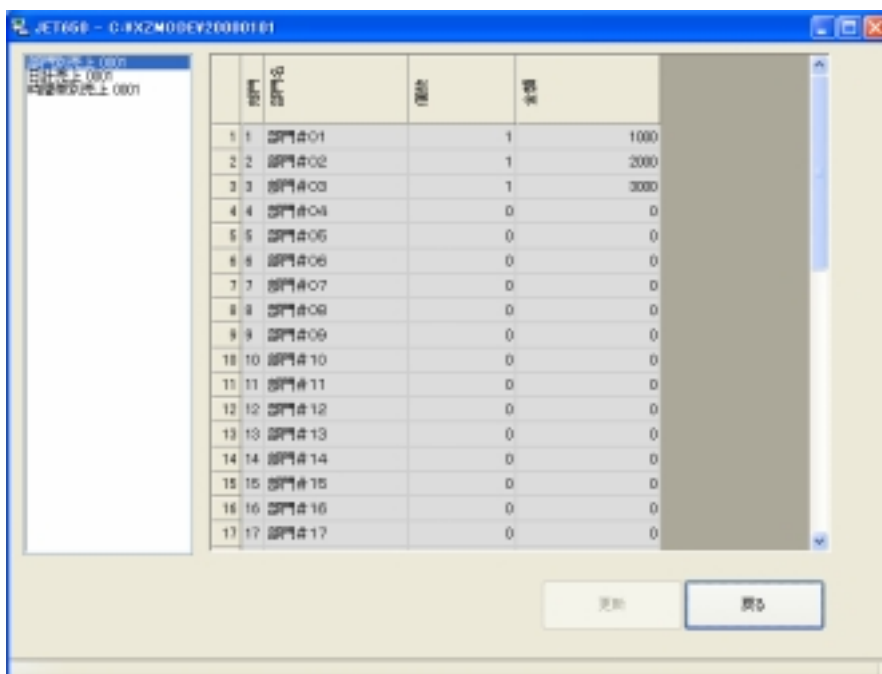
< 選択画面 >



レポートプレビューを  
選択します。



< レポートプレビュー >



左側のタイトルをクリック  
すると、各種レポートのプレ  
ビューが可能です。

## 7 動作説明

### 7 画面詳細説明

各画面の各入力項目についての説明と項目に必要な設定について説明します。

#### 7.1 オープニング画面

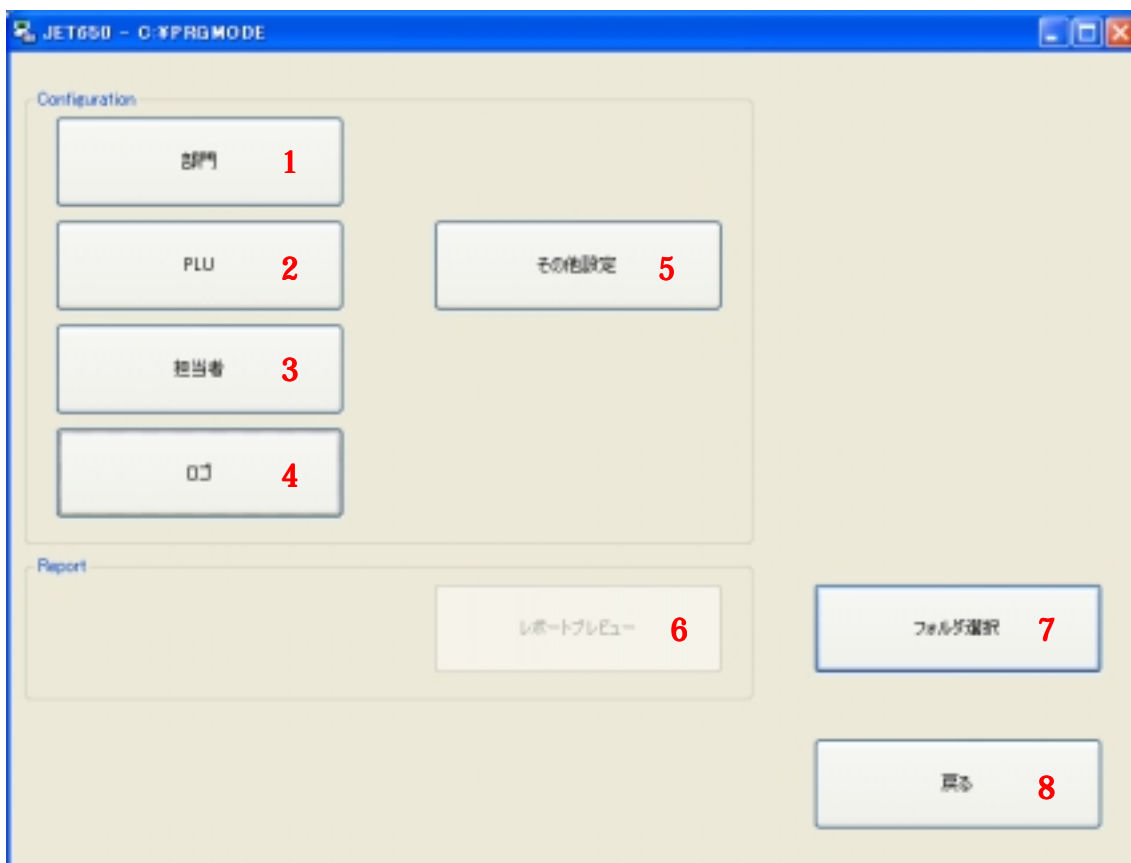
データの修正、レポートの閲覧を行いたい ECR を選択する画面です。



	項目名	説明	備考
1	ECR 選択コンボボックス	対象となる ECR を選択します。	
2	ECR 言語コンボボックス	言語を選択します。	
3	ECR 選択ボタン	選択 ECR を確定し各種選択画面に移行します。	

## 7.2 選択画面

各設定画面へ移行するための画面です。



	項目名	説明	備考
1	部門設定ボタン	部門の設定画面に移行します。	
2	PLU 設定ボタン	PLU の設定画面に移行します。	
3	担当者設定ボタン	担当者の設定画面に移行します。	
4	ロゴ設定ボタン	レシート、領収書に印刷する 挿絵の設定画面に移行します	
5	その他設定ボタン	支払種別等の ECR 詳細データの 設定画面に移行します	
6	レポートプレビュー ボタン	レポートの閲覧画面に移行します	6.3 レポート参照 手順
7	フォルダ選択ボタン	基本フォルダの選択画面を表示 します	6.1 基本フォルダに ついて
8	戻るボタン	オープニング画面に戻ります。	

基本フォルダ上に対象ファイルが存在しない場合、そのボタンは押せない状態になります。

ボタン	対象ファイル	
部門	PROGRAM.ECR	
PLU	PROGRAM.ECR	
担当者	PROGRAM.ECR	
ロゴ	店名ロゴ：GRP_HEAD.ECR	
	店名スタンプ：GRP_FOOT.ECR	
その他	PROGRAM.ECR	
レポートプレビュー	日計売上	FIN_???? .CSV
	部門別売上	DPT_???? .CSV
	PLU別売上	PLU_???? .CSV
	時間帯別売上	HOUR???? .CSV
	電子ジャーナル（全データ）	EJ_A???? .CSV
	電子ジャーナル（新しい順）	EJ_L???? .CSV
	電子ジャーナル（古い順）	EJ_O???? .CSV
	電子ジャーナル（日計レポート単位）	EJ_D???? .CSV
	日計売上（期間1）	F_1_???? .CSV
	部門別（期間1）売上	D_1_???? .CSV
	日計売上（期間2）	F_2_???? .CSV
	部門別（期間2）売上	D_2_???? .CSV
		????は時間（HHMM）が入ります

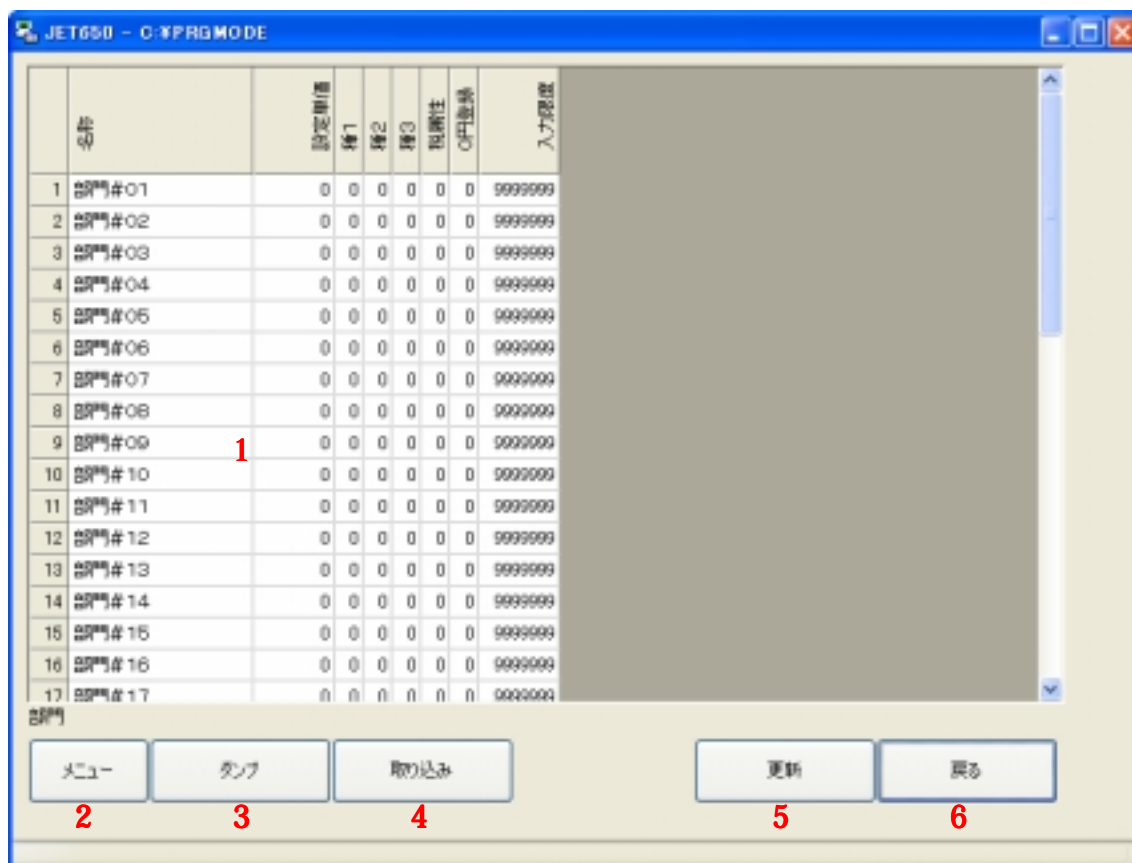
表 1 ボタンと対象ファイル一覧

レポートおよびグラフィック以外の項目は全て  
PROGRAM.ECR に保存されます。このことから部門、PLU、担当者、その他設定  
画面の[更新]ボタンは押した時点でその画面のデータのみが更新される  
のではなく、PROGRAM.ECR に関わる全データが更新されます。

### 7.3 部門設定画面

部門の設定を行う画面です。

A



	項目名	説明	備考
1	入力グリッド	各入力を行うエリアです。	7.9 を参照
2	メニュー - ボタン	設定項目の切り替えを行います。	
3	ダンプボタン	設定データを CSV 形式で保存します。	7.7 を参照
4	取り込みボタン	保存データを入力グリッドに取り込みます	7.8 を参照
5	更新ボタン	入力した内容をファイルに更新します	
6	戻るボタン	選択画面に戻ります。	



部門設定で入力できる内容は以下の項目です。

<<部門設定>> A

	文字数	最小値	最大値	備考
名称	半角 16 文字	-	-	
設定単価	数値 7 桁	0	9999999	
種 1	数値 1 桁	0	1	0:正売価 1:負売価
種 2	数値 1 桁	0	1	0:一般 1:単品
種 3	数値 1 桁	0	2	0:オープン&設定 1:オープンのみ 2:設定のみ
税属性	数値 1 桁	0	2	0:内税 1:外税 2:非課税
0 円登録	数値 1 桁	0	1	0:可能 1:禁止
入力限度	数値 7 桁	0	9999999	0 は禁止 9999999 は制限なし

## ECR 側での倍角表示について

ECR で表示もしくは印刷を倍角文字にしたい場合は[F5]キーを押して倍角指定特殊文字を挿入します。

- 半角を倍角にする場合

Ex) ” PLU01 ” を倍角にする。

[F5]P[F5]L[F5]U[F5]0[F5]1 と文字の前に[F5]キーを入力します。

PC-tool での表示上は ”・P・L・U・0・1 ” と

F5 キーを押した部分に・が表示されます。

**日本語全角入力で P L U 0 1 と入力した場合と ECR での表示は同じですので、半角文字を全角にする場合、特に倍角指定特殊文字を使う必要はありません。**

- 全角を倍角にする場合

Ex) ” 部門 0 1 ” の部門を倍角にする。

[F5]部[F5][F5]門[F5] 0 1 と、全角文字を[F5]キーで囲みます。

PC-tool での表示上は ”・部・門・ 0 1 ” と

F5 キーを押した部分に・が表示され、ECR では横倍角で表示されます。

**注意:囲まなかった場合、“・部 ”、“部・ ”)は文字化けする可能性があります。**

- 入力グリッド左端の数字エリアでダブルクリックをすると詳細画面が出ます。

A

データ表示

Page 1

名称: 部門#01

設定単価: 0

種1:  正売価  負売価 0

種2:  一般  単品 0

種3:  オープン&設定  オープンのみ  設定のみ 0

税属性:  内税  外税  非課税 0

0円登録:  可能  禁止 0

入力限度: 9999999

データ番号: [ ]

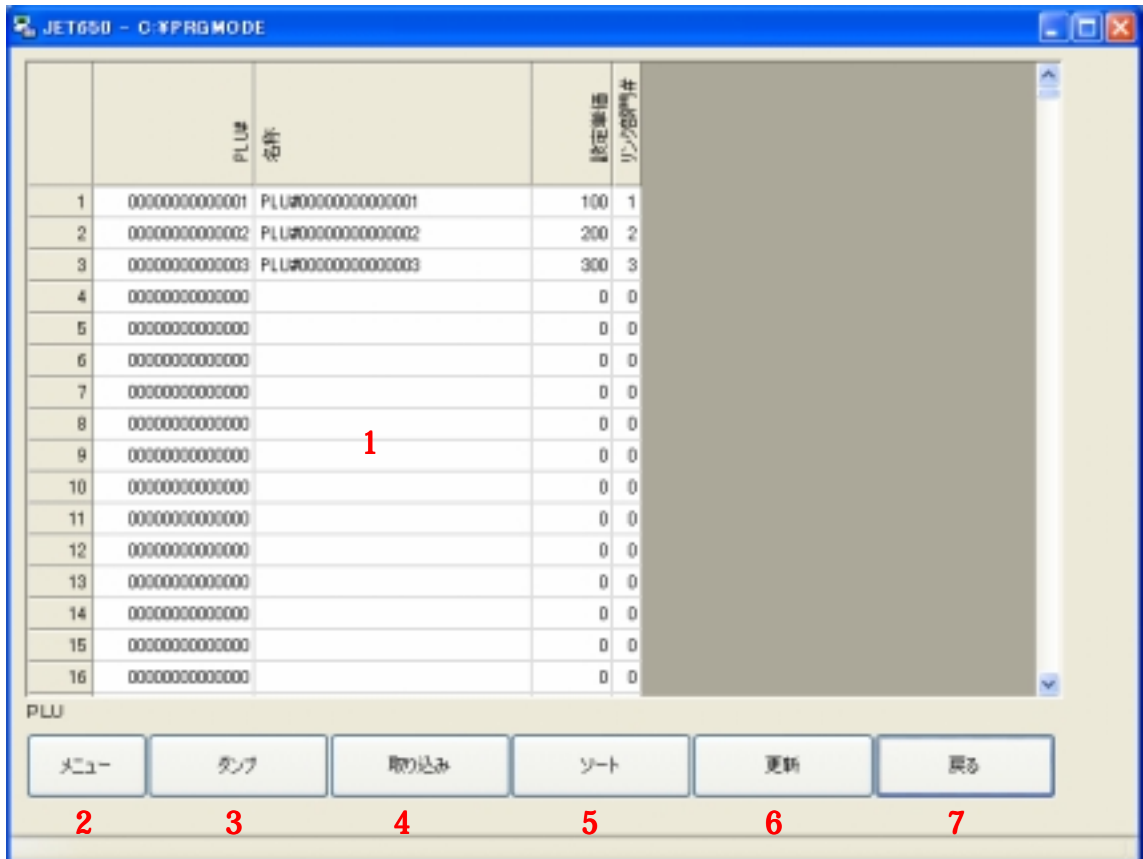
閉じる

	項目名	説明	備考
1	値入力	各入力を行うエリアです。	
2	選択エリア	設定したい項目を選択します。	参照
3	データ番号切り替えボタン	データ番号の切り替えを行います。	
4	データ番号選択エリア	データ番号を選択します。	
5	閉じるボタン	画面を閉じます。	

選択エリア右端の数値エリアは、選択により変更されます。数値入力は不可。

## 7.4 PLU 設定画面

PLU の設定を行う画面です。



注意：未精算の売上データがある場合、売上データと誤差が生じる事がございます。  
PC-TOOL を使用して PLU データを変更する場合は、必ず精算処理を行い、未精算のデータが無い状態で行ってください。

	項目名	説明	備考
1	入力グリッド	各入力を行うエリアです。	7.9 を参照
2	メニュー - ボタン	設定項目の切り替えを行います。	
3	ダンプボタン	設定データを CSV 形式で保存します。	7.7 を参照
4	取り込みボタン	保存データを入力グリッドに取り込みます	7.8 を参照
5	ソートボタン	PLU コードを昇順にソートします。	PLU 設定のみ表示されます
6	更新ボタン	入力した内容をファイルに更新します	
7	戻るボタン	選択画面に戻ります。	

PLU コードが昇順に並んでいることが前提です。  
更新前に PLU コードを[ソート]を使用して並べ替えて下さい。  
PLU コードが重複していると更新時にエラーとなります。

PLU 設定で入力できる内容は以下の項目です。

<<PLU 設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
PLU#	数値 14 桁	0	99999999999999	0 は未登録データとなります。
名称	半角 24 文字	-	-	
設定単価	数値 7 桁	0	9999999	
リンク部門#	数値 2 桁	1	40	

入力グリッド左端の数字エリアでダブルクリックをすると詳細画面が出ます。

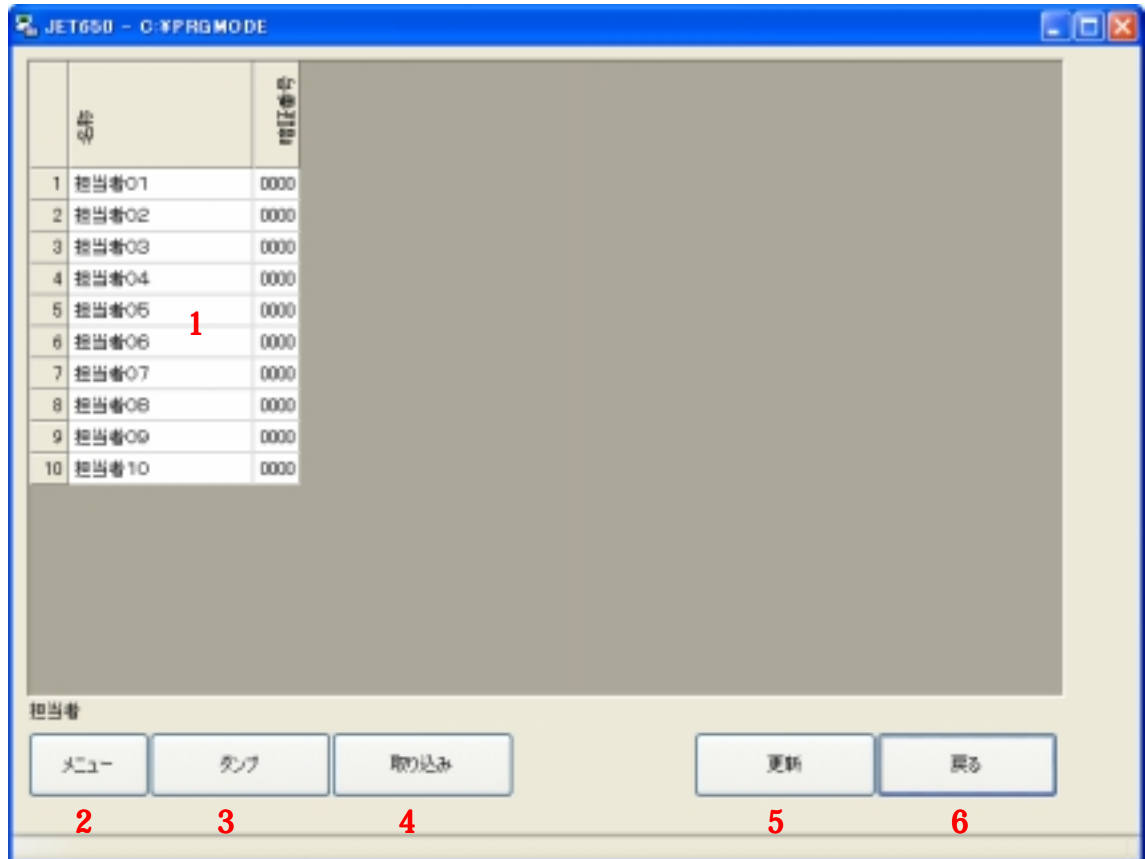
A

	項目名	説明	備考
1	値入力	各入力を行うエリアです。	
2	選択エリア	設定したい項目を選択します。	参照
3	データ番号切り替えボタン	データ番号の切り替えを行います。	
4	データ番号選択エリア	データ番号を選択します。	
5	閉じるボタン	画面を閉じます。	

選択エリア右端の数値エリアは、選択により変更されます。数値入力は不可。

## 7.5 担当者設定画面

担当者の設定を行う画面です。



	項目名	説明	備考
1	入力グリッド	各入力を行うエリアです。	7.9を参照
2	メニュー - ボタン	設定項目の切り替えを行います。	
3	ダンプボタン	設定データをCSV形式で保存します。	7.7を参照
4	取り込みボタン	保存データを入力グリッドに取り込みます	7.8を参照
5	更新ボタン	入力した内容をファイルに更新します	
6	戻るボタン	選択画面に戻ります。	

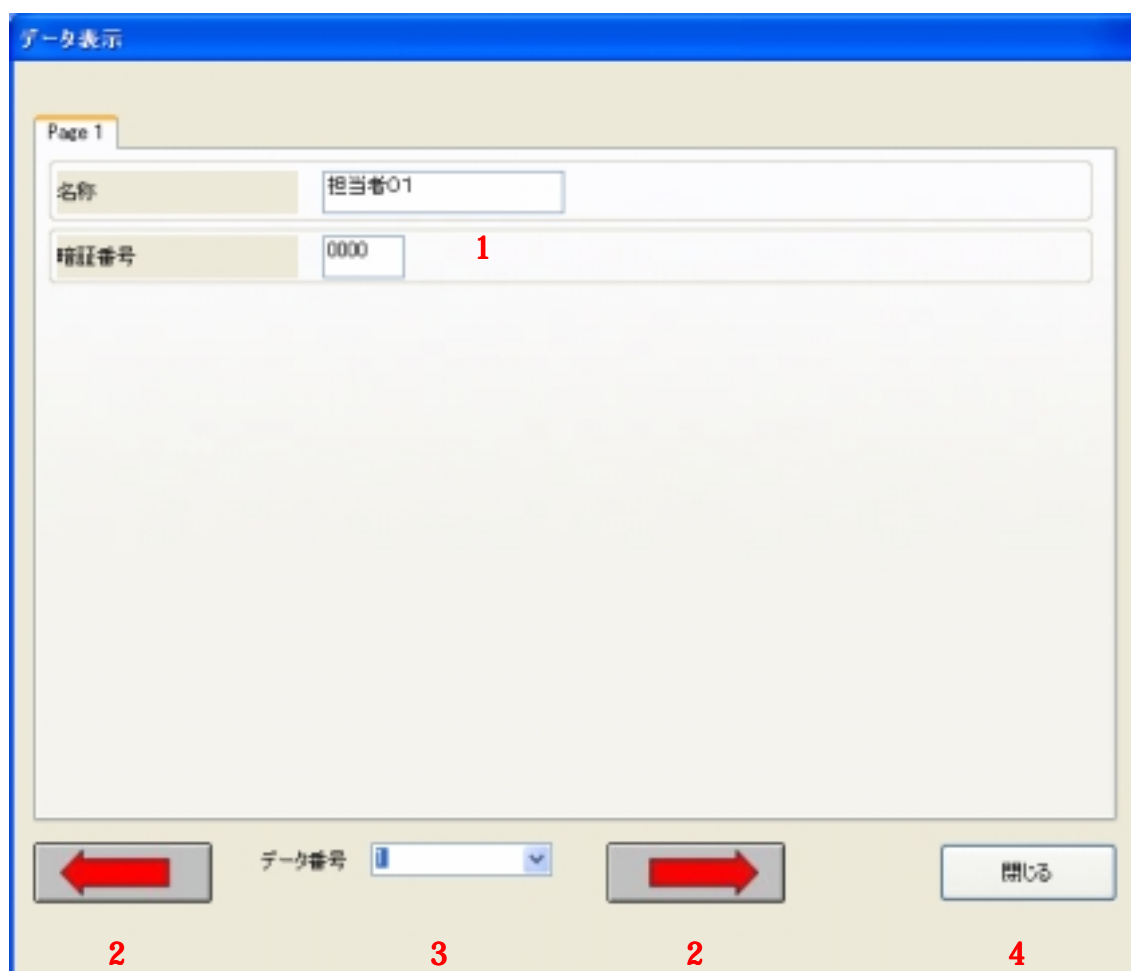
担当者設定で入力できる内容は以下の項目です。

<<担当者設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
名称	半角 16 文字	-	-	
暗証番号	数値 4 桁	0000	9999	0000 は未設定と同様

入力グリッド左端の数字エリアでダブルクリックをすると詳細画面が出ます。

A



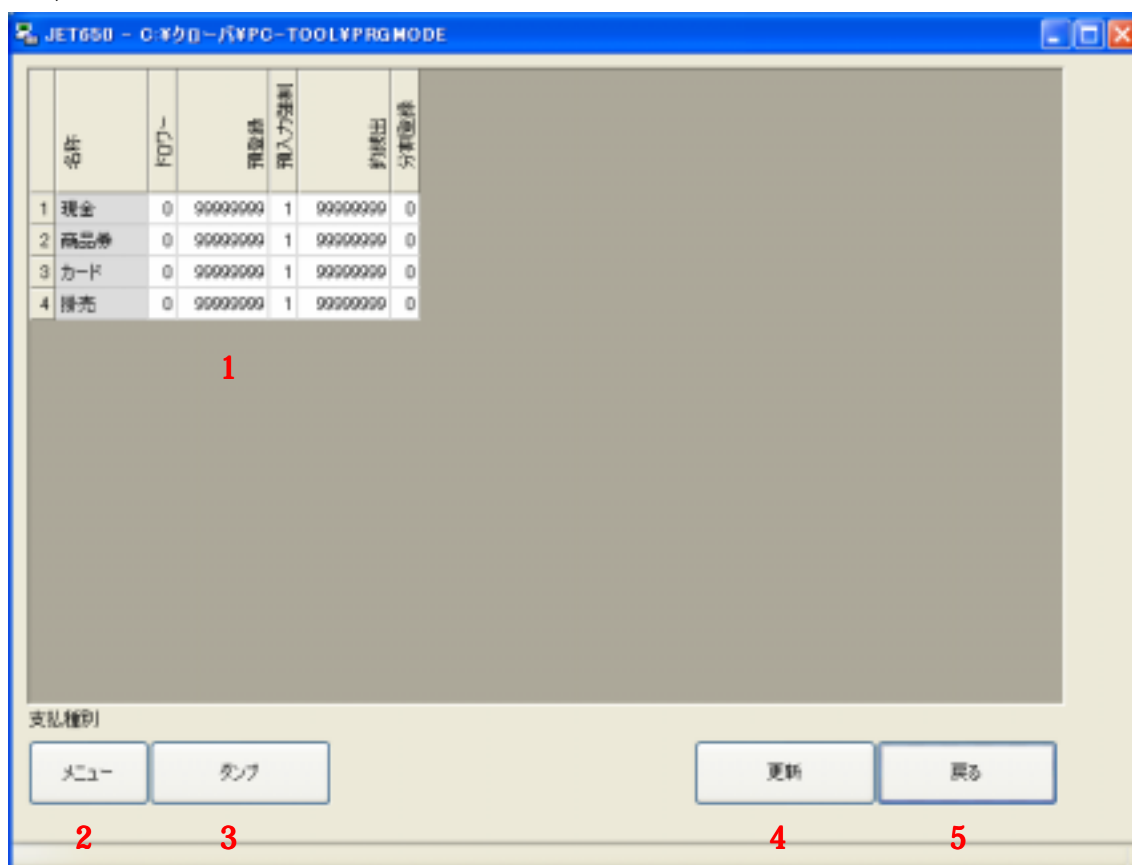
	項目名	説明	備考
1	値入力	各入力を行うエリアです。	
2	データ番号切り替えボタン	データ番号の切り替えを行います。	
3	データ番号選択エリア	データ番号を選択します。	
4	閉じるボタン	画面を閉じます。	



## 7.6 その他設定画面

ECRに必要なデータの設定を行う画面です。

A,C



	項目名	説明	備考
1	入力グリッド	各入力を行うエリアです。	7.9を参照
2	メニュー - ボタン	設定項目の切り替えを行います。	
3	ダンプボタン	設定データをCSV形式で保存します。	7.7を参照
4	更新ボタン	入力した内容をファイルに更新します	
5	戻るボタン	選択画面に戻ります。	

入力グリッド左端の数字エリアでダブルクリックをすると詳細画面が出ます。

A,C

	項目名	説明	備考
1	値入力	各入力を行うエリアです。	
2	選択エリア	設定したい項目を選択します。	参照
3	データ番号切り替え ボタン	データ番号の切り替えを行います。	
4	データ番号選択 エリア	データ番号を選択します。	
5	閉じるボタン	画面を閉じます。	

選択エリア右端の数値エリアは、選択により変更されます。数値入力は不可。

その他設定で入力できる内容を以下に記します。

<<支払種別>> A,C

	文字数	最小値	最大値	備考
名称	設定不可	-	-	
ドロワー	数値 1 桁	0	1	0:開ける 1:開けない
預登録	数値 8 桁	0	99999999	0 は禁止 99999999 は制限なし
預入力強制	数値 1 桁	0	1	0:あり 1:なし
釣銭出	数値 8 桁	0	99999999	0 は禁止 99999999 は制限なし
分割登録	数値 1 桁	0	1	0:可能 1:不可能

<<値引設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
値引額	数値 8 桁	0	99999999	
金額入力	数値 1 桁	0	1	0:可能 1:不可能

## &lt;&lt;割増設定&gt;&gt;

	文字数	最小値	最大値	備考
割増率	数値 4 桁	0	9999	上 2 桁が整数 下 2 桁が小数に なります。 1000= 10.00
率入力	数値 1 桁	0	1	0:可能 1:不可能
端数丸め	数値 1 桁	0	2	0:四捨五入 1:切り捨て 2:切り上げ

## &lt;&lt;割引設定&gt;&gt;

	文字数	最小値	最大値	備考
割引率	数値 4 桁	0	9999	上 2 桁が整数 下 2 桁が小数に なります。 1000= 10.00
率入力	数値 1 桁	0	1	0:可能 1:不可能
端数丸め	数値 1 桁	0	2	0:四捨五入 1:切り捨て 2:切り上げ

<<基本オプション設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
担当者機能	数値 1桁	0	1	0:有効 1:無効
取引毎サインイン	数値 1桁	0	1	0:有効 1:無効
ジャーナル機能	数値 1桁	0	1	0:有効 1:無効
レシート再発行	数値 1桁	0	1	0:可能 1:不可
両替レシート	数値 1桁	0	1	0:発行 1:未発行
時刻表記	数値 1桁	0	1	0:24 時間表記 1:12 時間表記
乗数登録	数値 1桁	0	1	0:乗数-[×] 1:[×]-乗数
値引丸め	数値 1桁	0	2	0:なし 1:5 円 2:10 円
アイドル表示	数値 1桁	0	2	0:しない 1: 1分 2: 3分
キータッチ音	数値 1桁	0	1	0:あり 1:なし

<<領収書設定>> A

	文字数	最小値	最大値	備考
印紙額	数値 8 桁	0	99999999	
一連番号印字	数値 1 桁	0	1	0:する 1:しない
領収書名	数値 1 桁	0	1	0:領収書 1:領収証
印刷方向	数値 1 桁	0	1	0:縦 1:横
控え印刷	数値 1 桁	0	1	0:選択 1:しない

<<レポート設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
日計 0 合計	数値 1 桁	0	1	0:印刷 1:非印刷
部門 0 合計	数値 1 桁	0	1	0:印刷 1:非印刷
P L U 0 合計	数値 1 桁	0	1	0:印刷 1:非印刷
一連番号初期化	数値 1 桁	0	1	0:有効 1:無効
領収番号初期化	数値 1 桁	0	1	0:有効 1:無効
開始時刻	数値 2 桁	00	23	
日計売上	数値 1 桁	0	2	0:印字のみ 1:SDのみ 2:印字&SD
部門別	数値 1 桁	0	2	0:印字のみ 1:SDのみ 2:印字&SD

PLU別	数値 1桁	0	2	0:印字のみ 1:SDのみ 2:印字&SD
時間帯別	数値 1桁	0	2	0:印字のみ 1:SDのみ 2:印字&SD
電子J	数値 1桁	0	2	0:印字のみ 1:SDのみ 2:印字&SD
日計期 1	数値 1桁	0	2	0:印字のみ 1:SDのみ 2:印字&SD
部門期 1	数値 1桁	0	2	0:印字のみ 1:SDのみ 2:印字&SD
日計期 2	数値 1桁	0	2	0:印字のみ 1:SDのみ 2:印字&SD
部門期 2	数値 1桁	0	2	0:印字のみ 1:SDのみ 2:印字&SD

<<レシート印刷設定>> A

	文字数	最小値	最大値	備考
ヘッダMSG	数値1桁	0	1	0:印刷 1:非印刷
フッタMSG	数値1桁	0	1	0:印刷 1:非印刷
店名ロゴ	数値1桁	0	1	0:印刷 1:非印刷
日付	数値1桁	0	1	0:印刷 1:非印刷
時刻	数値1桁	0	1	0:印刷 1:非印刷
担当者名	数値1桁	0	1	0:印刷 1:非印刷
一連番号	数値1桁	0	1	0:印刷 1:非印刷
レジスタ番号	数値1桁	0	1	0:印刷 1:非印刷
商品点数	数値1桁	0	1	0:印刷 1:非印刷
税シンボル	数値1桁	0	1	0:印刷 1:非印刷
税詳細	数値1桁	0	1	0:印刷 1:非印刷



<<レポート印刷設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
総合計	数値 1 桁	0	1	0:印刷 1:非印刷
返品合計	数値 1 桁	0	1	0:印刷 1:非印刷
訂正合計	数値 1 桁	0	1	0:印刷 1:非印刷
両替回数	数値 1 桁	0	1	0:印刷 1:非印刷

<<ヘッダメッセージ設定>> A

	文字数	最小値	最大値	備考
ヘッダメッセージ	半角 32 桁			

<<フッタメッセージ設定>> A

	文字数	最小値	最大値	備考
フッタメッセージ	半角 32 桁			

<<日付・時刻設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
年	数値 2 桁	00	99	PC 側での変更はできません。
月	数値 2 桁	01	12	
日	数値 2 桁	01	31	
時	数値 2 桁	00	23	
分	数値 2 桁	00	59	

<<税率設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
税率	数値 4 桁	0	9999	上 2 桁が整数 下 2 桁が小数に なります。 1000= 10.00
端数丸め	数値 1 桁	0	2	0:四捨五入 1:切り捨て 2:切り上げ
変更年	数値 2 桁	00	99	
変更月	数値 2 桁	01	12	
変更日	数値 2 桁	01	31	
変更時	数値 2 桁	00	23	
変更分	数値 2 桁	00	59	
変更後税率	数値 4 桁	0	9999	上 2 桁が整数 下 2 桁が小数に なります。 1000= 10.00

<<レジスター番号設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
レジスター番号	数値 4 桁	0	9999	

## 7.7 [ダンプ]ボタンについて

[ダンプ]ボタンについては現在入力グリッド上に表示しているデータを別ファイルに保存する事が出来ます。

[ダンプ]ボタンにより作成された別ファイルの詳細は以下となります。

ファイル形式：CSV

文字コード：UNICODE

セルの区切り：カンマ区切り

[ダンプ]ボタンにより作成した別ファイルはメモ帳やエクセルファイルなどで確認ができます。

その他設定ではダンプ処理しかありませんので別ファイルとして保存するだけです。

(別ファイルのデータを編集して PC-tool に反映することはできません)

## 7.8 [取り込み]ボタンについて

[取り込み]ボタンについては部門、PLU、担当者設定時に使用可能です。別ファイルの設定データを PC-tool に取り込むことができます。

### 7.8.1 取り込み処理に必要なファイルの形式について

[取り込み]ボタンにより PC-tool に設定を反映させることができる設定ファイルの詳細は以下となります。

ファイル形式：CSV

文字コード：UNICODE

セルの区切り：カンマ区切り

データの作成方法：設定のデータ内容と同じです。

このマニュアルの各設定データを参照し、  
ファイルを作成して下さい。

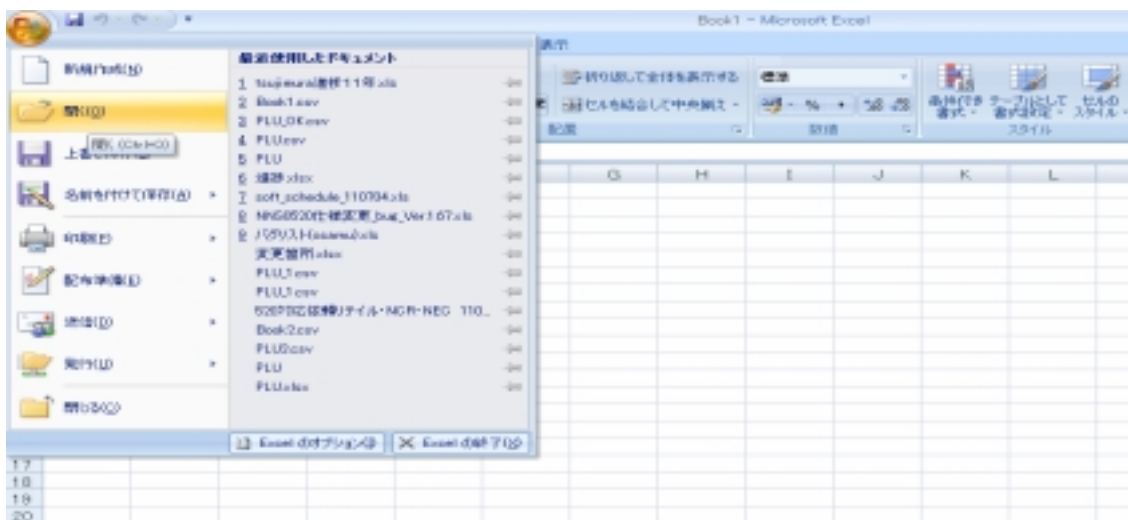
PLUデータ例：04903333025367，新商品，10000,1

## 7.8.2 [ダンプ]ボタンで作成したファイルをエクセルを使用してメンテナンスして取り込みを行う場合の注意点

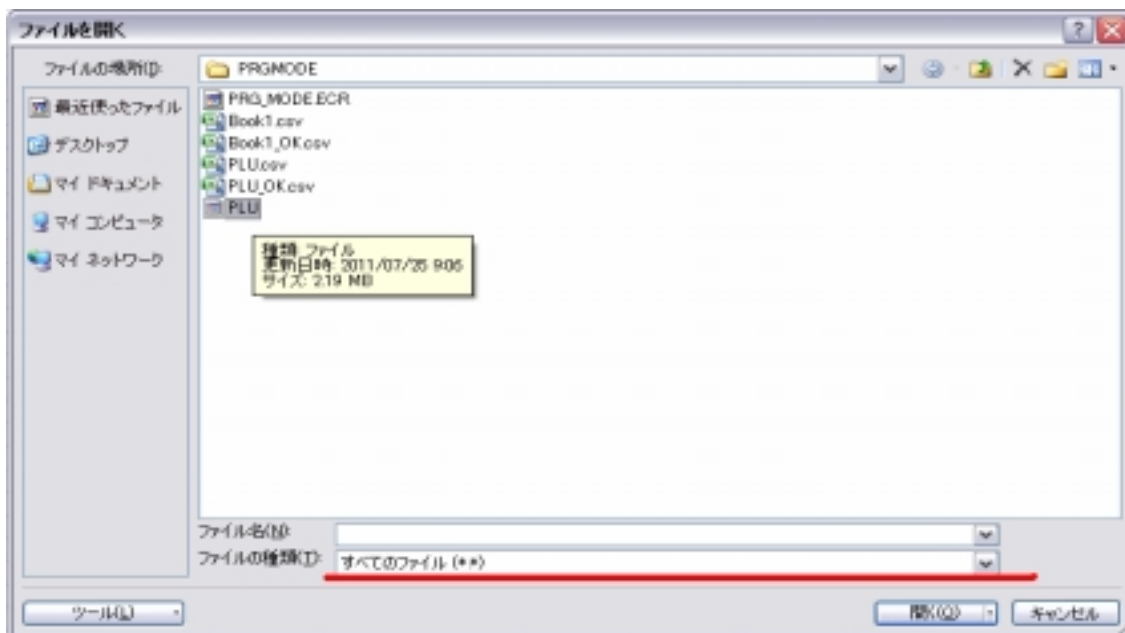
[ダンプ]ボタンで作成したファイルをエクセルを使用してメンテナンスして取り込みを行う場合に注意点があります。

ファイルを開くときの注意点

エクセルを開いた状態で[開く]ボタンをクリックします。



下記の通りファイルの種類を[すべてのファイル(\*.\*)]を指定したあと指定ファイル([ダンプ]ボタンで作成したファイル(PLU))を指定します。



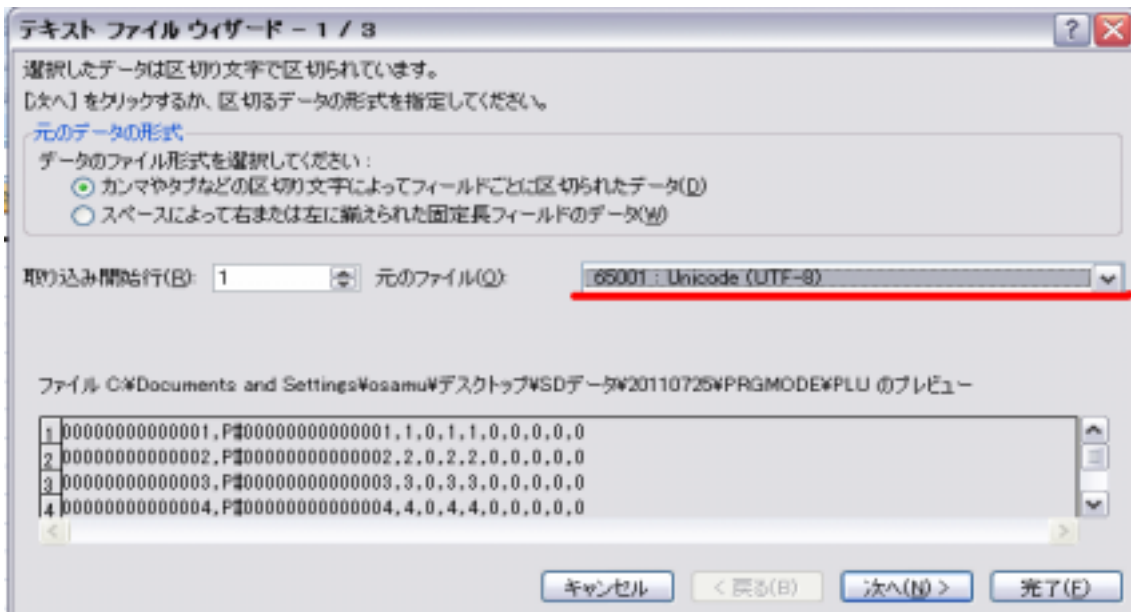
下記ダイアログが出ますが、ここでは[はい]をクリックして下さい



ファイル形式の指定

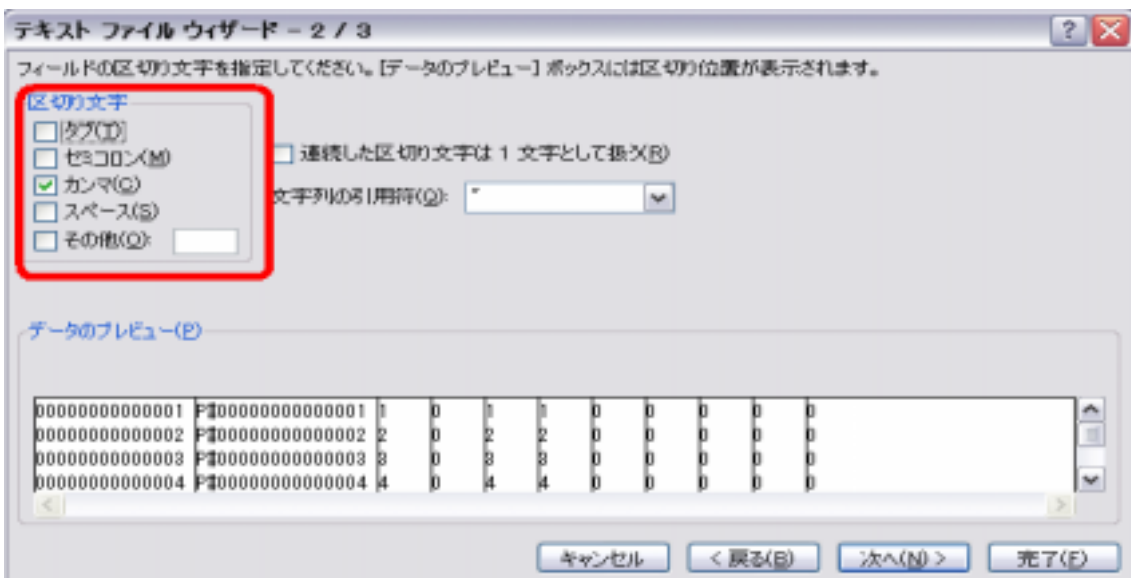
下記画面が出ますので元のファイルを

[65001:Unicode(UTF-8)]に指定して[次へ]ボタンを押して下さい。

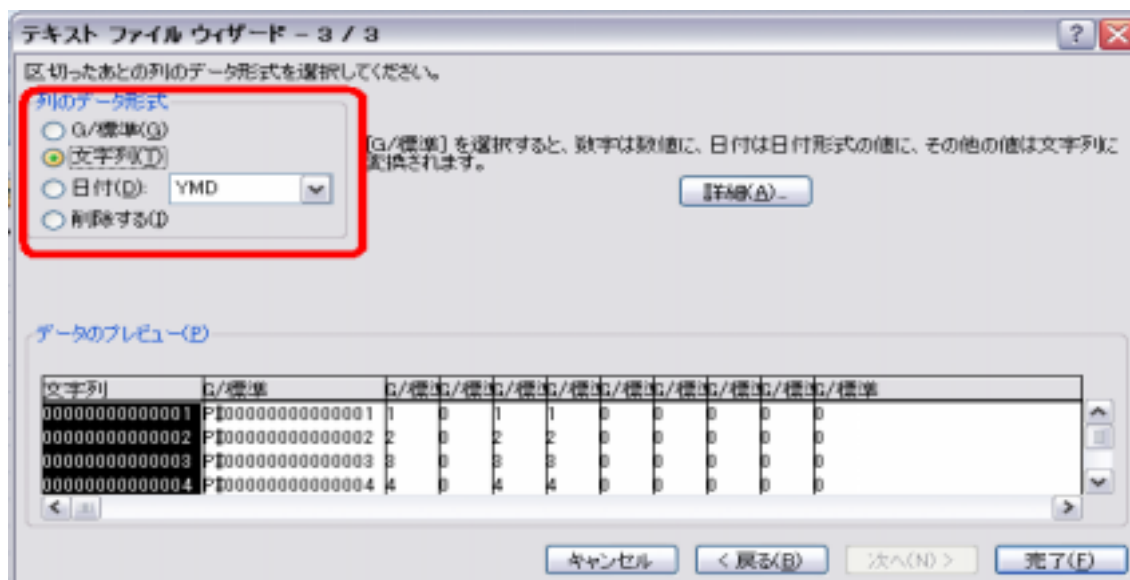


次に下記画面が出ますので区切り文字を

[カンマ]に指定して[次へ]ボタンを押して下さい。



次に下記画面が出ますので列のデータ形式を A  
[文字列]に指定して[完了]ボタンを押して下さい。  
以上でファイルのオープンは終了です。



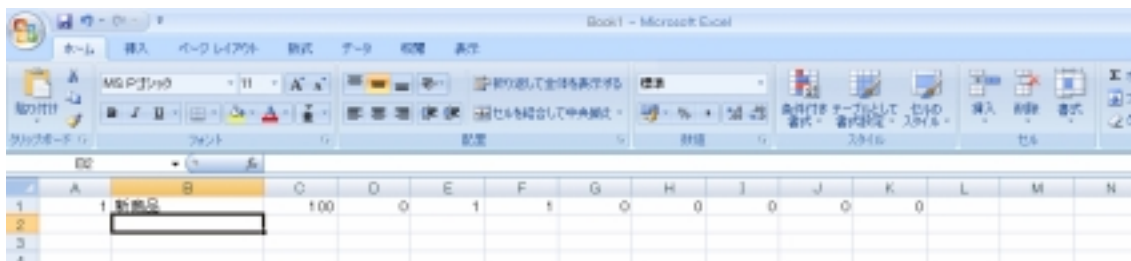
ファイルのメンテナンス方法および保存方法については  
次の項でご説明します。

### 7.8.3 エクセルで CSV を作成する場合の注意点

エクセルを使用して CSV ファイルを作成するときに注意点があります。

保存形式

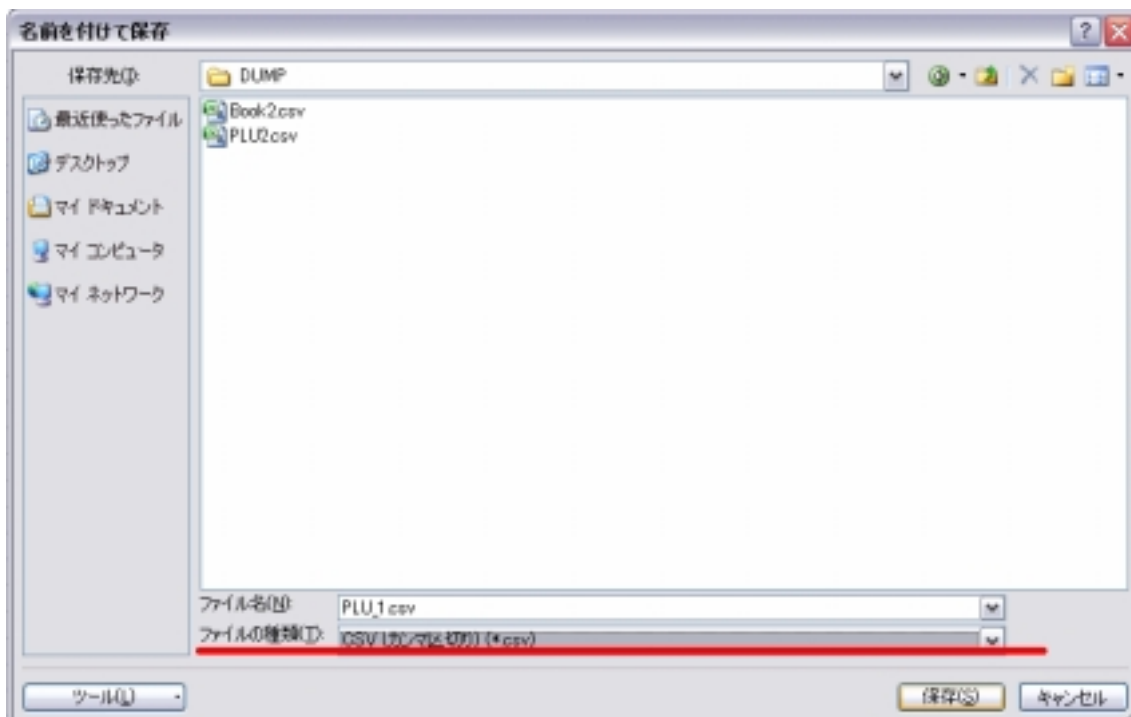
ファイルを作成した後、ファイル形式を指定して保存する必要があります。



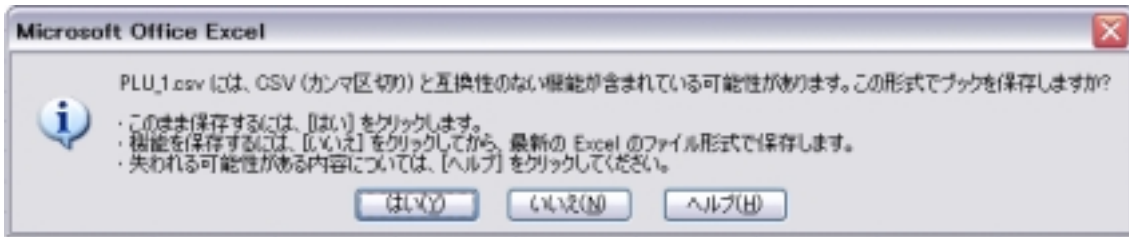
上記のようにデータをセル毎に入力した後データを保存します。

[名前を付けて保存]をクリックすると下記画面が出ます。

下記の通りファイルの種類を[C S V (カンマ区切り)(\*.csv)]を指定します。



下記ダイアログが出ますが、ここでは[はい]をクリックして下さい



### 文字コード変換

で作成した CSV ファイルは、文字コードが SHIFT-JIS になっています。  
PC-tool へ取り込む際には文字コードを UNICODE に変換する必要があります。  
変換ツールはフリーソフトが利用できます。

参考情報 下記 Vector ホームページを参照下さい

<http://www.vector.co.jp/vpack/filearea/win/util/text/conv/code/>

### CSV ファイルの取り込み仕様

CSV ファイルの取り込みの仕様について述べます。

取り込みを行った場合、仕様は下記となります。

設定画面の上位からデータを上書きしていく

CSV データが最大設定数に満たない場合は

残りの設定データをゼロ(データなし)として取り込む

以上の仕様となります。



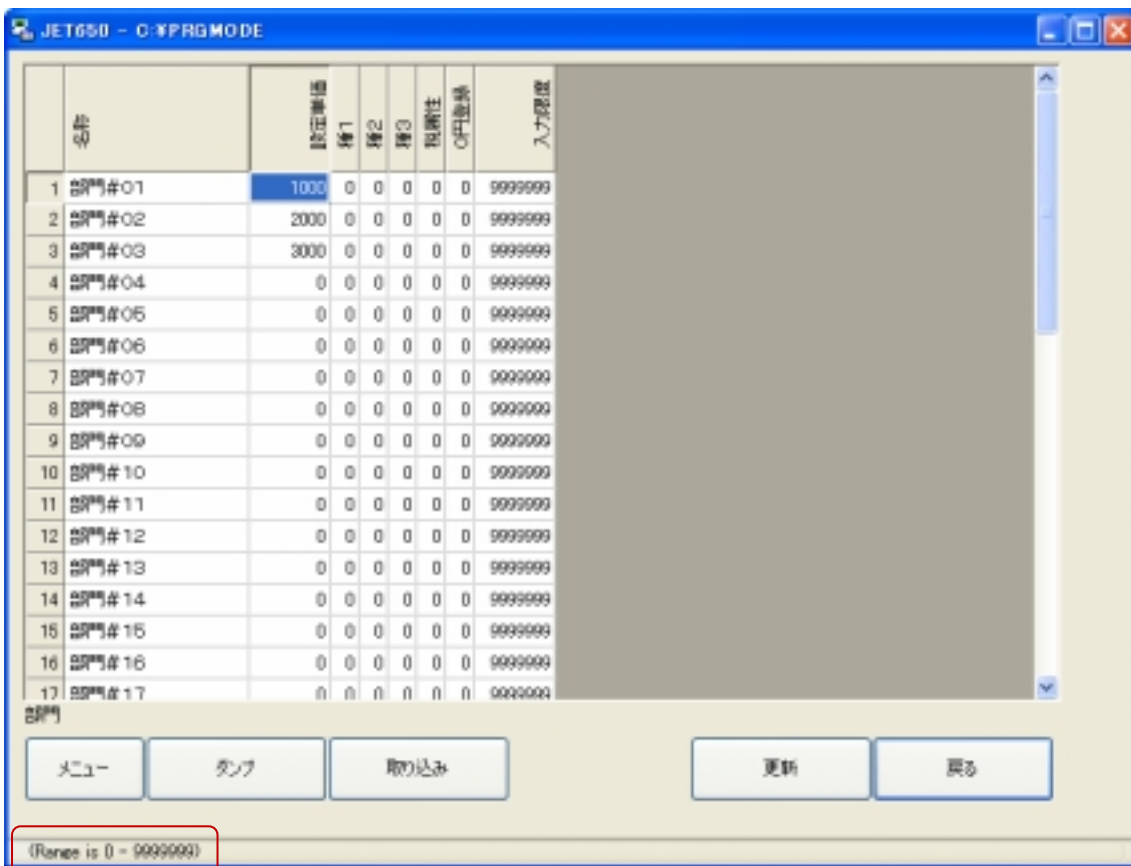
## 7.9 入力グリッドについて

入力グリッドについての詳細を、下記に記載します。

### 7.9.1 HELP 表示

各入力グリッドをクリックすると、画面左下に設定範囲が表示されます。

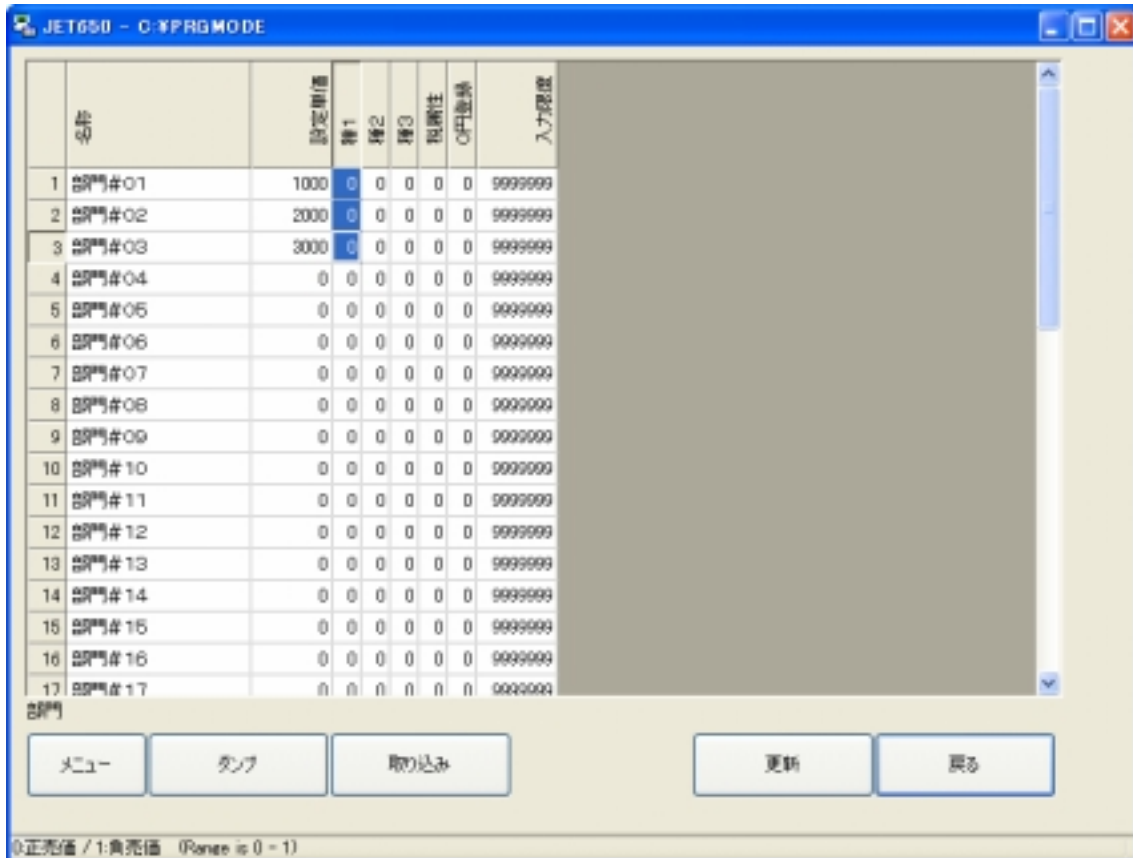
A



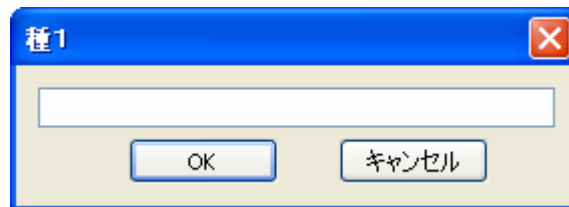
## 7.9.2 選択範囲一括入力

入力グリッドをクリックし、[Shift]キー+[矢印]キーにて、  
範囲指定をします。

A

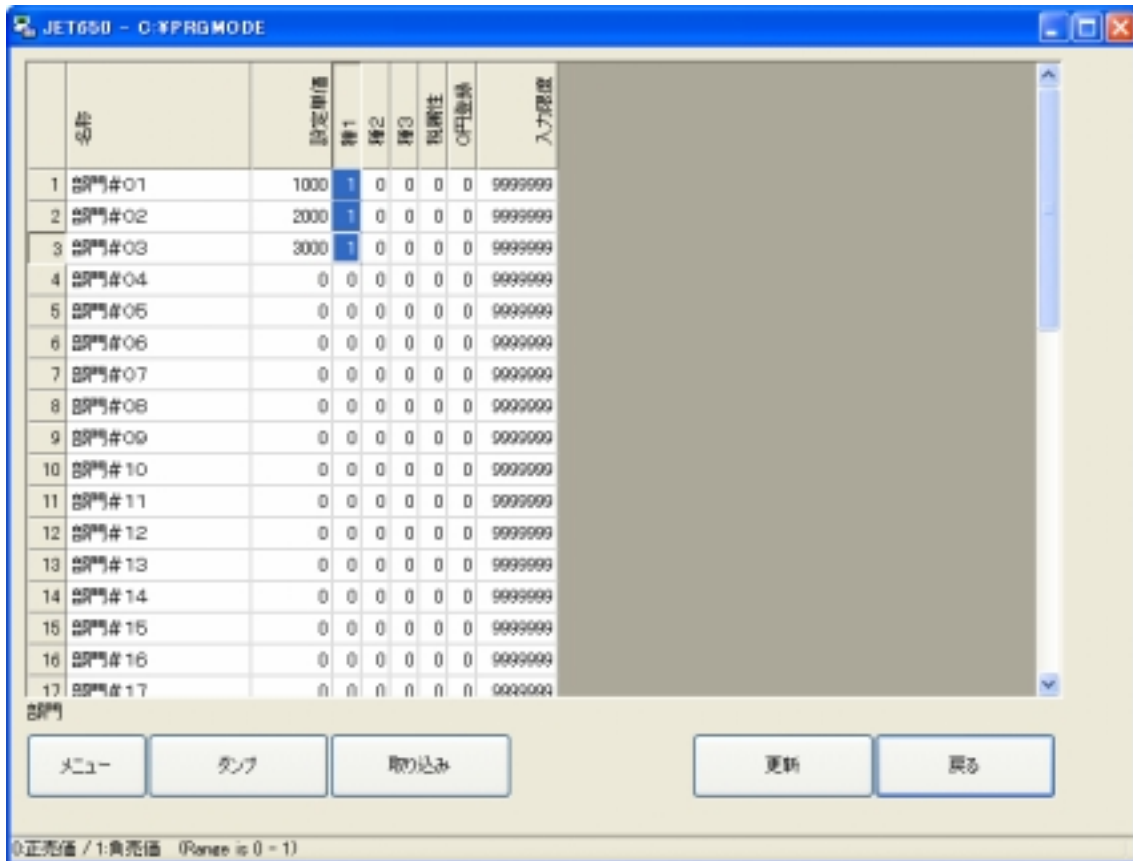


右クリックをすると、入力ウィンドーが開きます。



設定内容を入力し、[OK]ボタンを押下すると、一括入力が完了します。

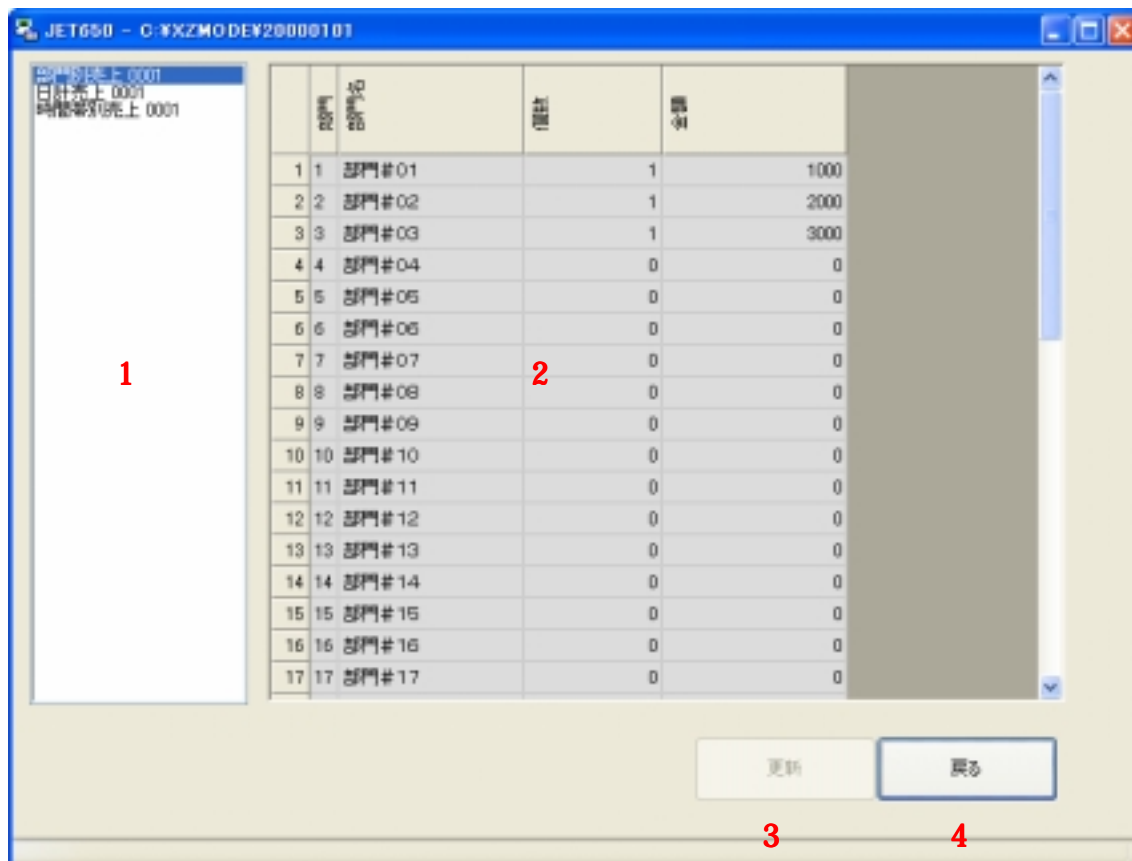
A



複数列選択、または単一行選択のみの場合は機能しません。

## 7.10 レポートプレビュー画面

レポートデータの閲覧画面です。



	項目名	説明	備考
1	選択リスト	基本フォルダ内のレポートを一覧で表示します。閲覧したいレポートを選択すると表示グリッドに内容が表示されます。	
2	表示グリッド	選択されたレポートの内容を表示するエリアです。	
3	更新ボタン	レポート閲覧は更新できませんのでこのボタンは押下できません。	
4	戻るボタン	選択画面に戻ります。	

選択リストに表示されるのは“**基本フォルダ**”内に格納されているもののみです。  
画面上の内容とファイルの関連付けは「表1 ボタンと対象ファイル一覧」を参照

## CSV の XLS ダイレクト機能

選択リストからレポートをダブルクリックすると、対象の CSV ファイルから Excel ファイル(.xls)を作成し、画面に表示します。

PC に Excel がインストールされている必要があります。

サポート対象は次の通りです。 Excel 2000,2002,2003,2007,2010

### <エクセル>

	A	B	C	D	E
1	1	部門# 01	1	1000	
2	2	部門# 02	1	2000	
3	3	部門# 03	1	3000	
4	4	部門# 04	0	0	
5	5	部門# 05	0	0	
6	6	部門# 06	0	0	
7	7	部門# 07	0	0	
8	8	部門# 08	0	0	
9	9	部門# 09	0	0	
10	10	部門# 10	0	0	
11	11	部門# 11	0	0	
12	12	部門# 12	0	0	
13	13	部門# 13	0	0	
14	14	部門# 14	0	0	
15	15	部門# 15	0	0	
16	16	部門# 16	0	0	
17	17	部門# 17	0	0	
18	18	部門# 18	0	0	
19	19	部門# 19	0	0	

## グラフ

選択リストのレポートをダブルクリックすると、対象の CSV ファイルからグラフを作成します。作成可能なグラフは以下 3 種類です。

### 1) 日計

対象レポート：

日計売上

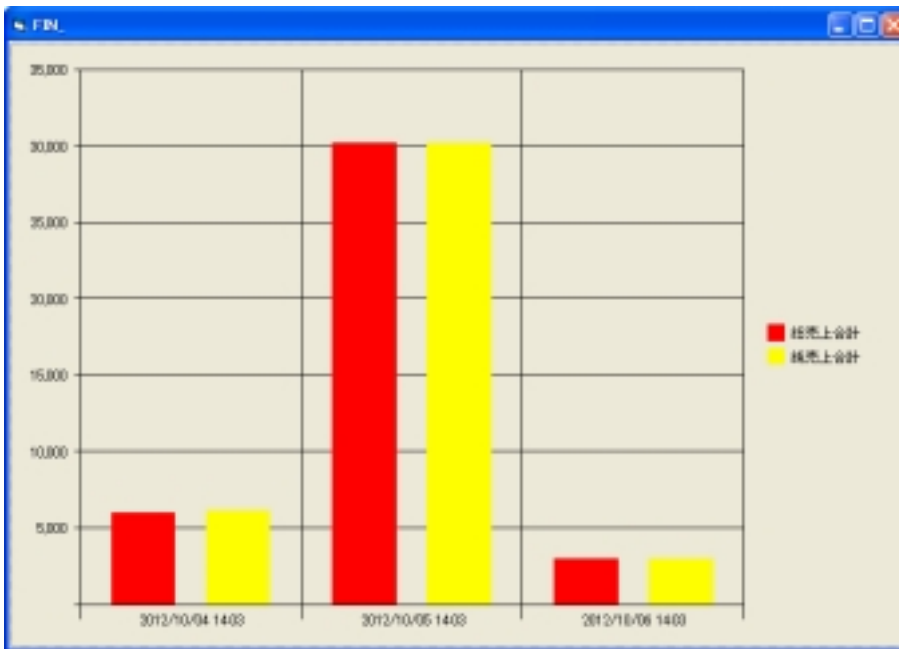
日計売上（期間 1）

日計売上（期間 2）

選択されたレポートが格納されているフォルダおよび同階層 20YYMMDD フォルダから同レポートを検索し、棒グラフ（純売上と総売上）を作成します。表示日時は CSV ファイルのタイムスタンプです。

### <グラフ>

E



登録データがあれば表示されます。

## 2) 部門

対象レポート:

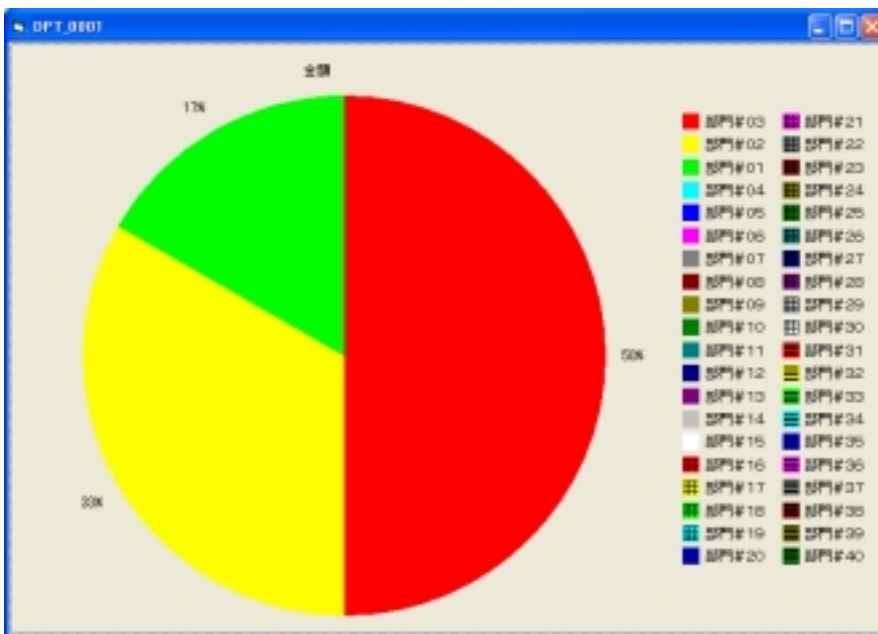
部門別売上

部門別(期間1)売上

部門別(期間2)売上

円グラフ(%比率)を作成します。

<グラフ>



登録データがあれば  
表示されます。

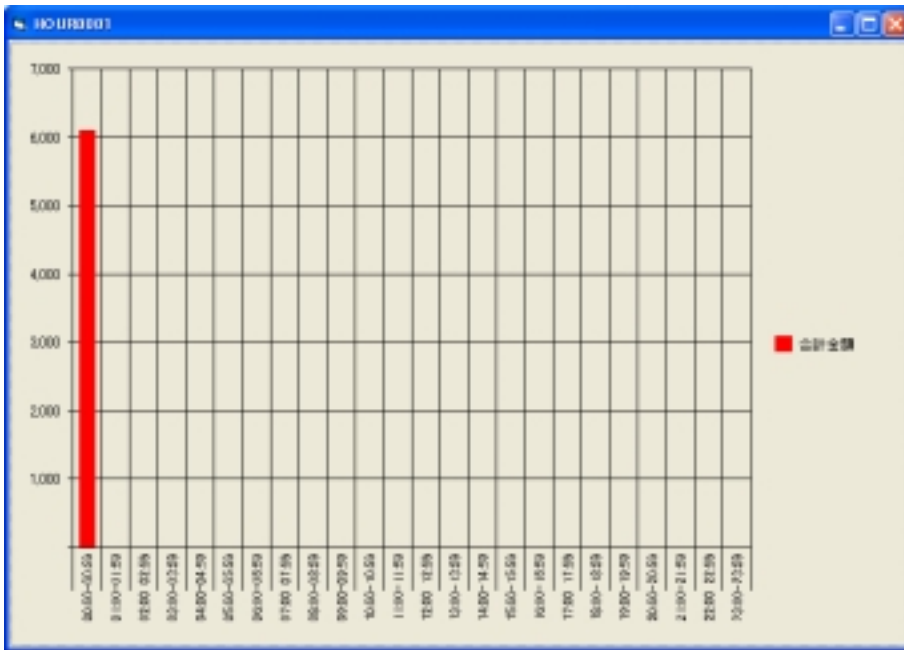
### 3) 時間帯

対象レポート :

時間帯別売上

棒グラフ(合計金額)を作成します。

<グラフ>



登録データがあれば  
表示されます。

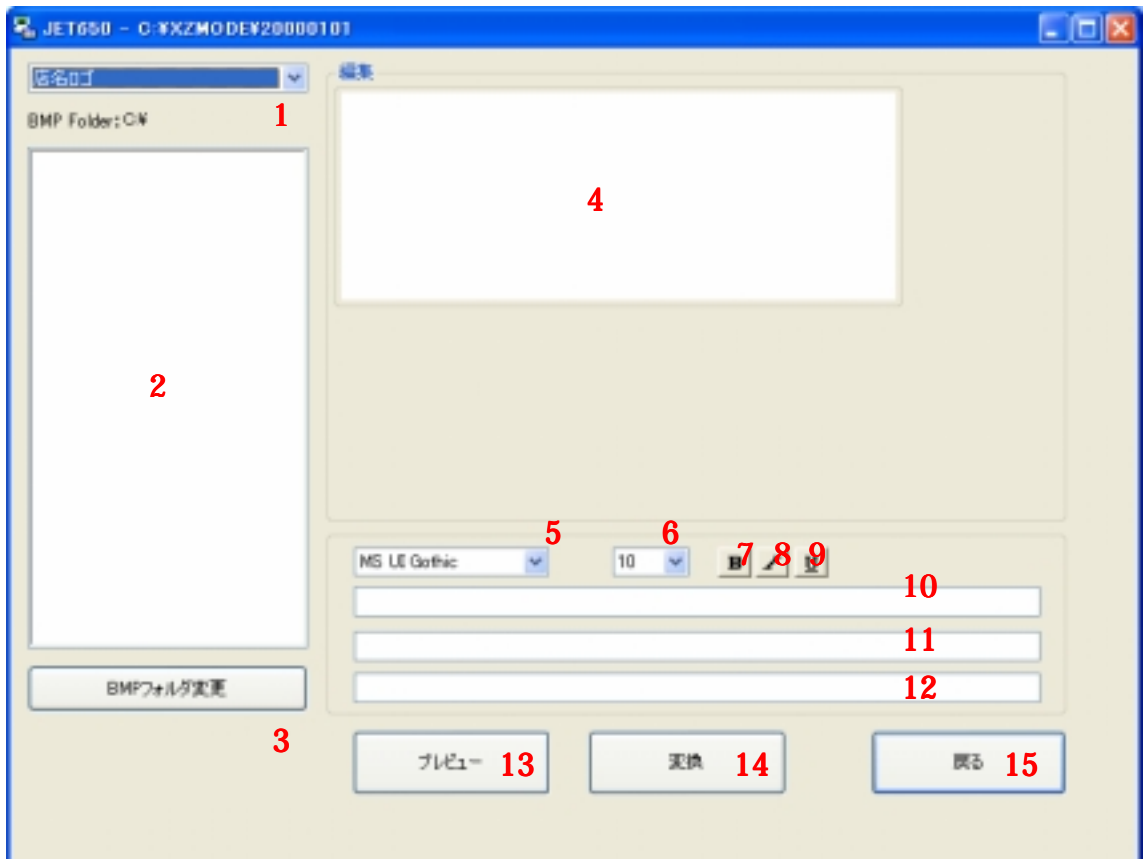


## 7.11 ログ画面

SD カードを使用し ECR に店名ロゴなどを作成し設定する場合

6.2 で説明したデータのメンテナンスと同じように「フォルダ選択」ボタンより SD カードの「PRGMODE」を選択し、次ロゴ作成の手順に入ってください。

店名ロゴ、スタンプのグラフィックデータを編集、変換する画面です。



	項目名	説明	備考
1	選択リスト	店名ロゴ、店名スタンプのどちらかを選択します。 選択した方を対象に編集、変換プレビューを行うこととなります。	
2	BMP 選択リスト	ビットマップファイルが一覧で表示されます。選択すると4の編集エリアに内容が表示されます。	
3	BMP フォルダ変更ボタン	押下すると、取り込みたいBMPファイルのあるフォルダを選択できます。 <b>注意：スペースありのフォルダを選択できます。</b>	<b>基本フォルダは変更されません</b> あくまでBMPの参照フォルダの選択です。
4	編集エリア	グラフィックデータの編集領域です	
5	フォント選択リスト	入力文字のフォントを選択できます	
6	フォントサイズリスト	入力文字のフォントサイズを選択できます	フォントによってはサイズを変更しても変化がないものもあります
7	ボールドボタン	押下すると入力文字は太文字になります。	
8	斜体ボタン	押下すると入力文字は斜体になります。	
9	下線ボタン	押下すると入力文字に下線が引かれます。	
10	入力フィールド1	入力文字フィールドです。	
11	入力フィールド2	入力文字フィールドです。	
12	入力フィールド3	入力文字フィールドです。	
13	プレビューボタン	押下すると転送イメージデータを閲覧することができます。	
14	変換ボタン	押下すると4.編集エリアのグラフィックデータを ECR へ転送するイメージデータに変換します。	
15	戻るボタン	選択画面に戻ります。	

変換して作成される転送イメージデータのファイル名は BMP 選択リストで選択した BMP ファイル名に依存します。

店名ロゴ：BMP 選択リストの選択 BMP 名\_J6H.ECR

店名スタンプ：BMP 選択リストの選択 BMP 名\_J6F.ECR

Ex) LOGO.bmp を店名ロゴとして変換すると LOGO\_J6H.ECR になります。

( BMP を選択せず変換すると BLANK\_J6H(\_J6F).ECR というファイル名で変換します)

グラフィックの作成手順を次のページに記述します。

## 7.12 グラフィックデータの作成

グラフィックデータは、予めビットマップを用意する必要があります。  
まずは、ペイントブラシ等でビットマップを作成して下さい。  
(今回はペイントブラシを使ってビットマップを作成してみます。)

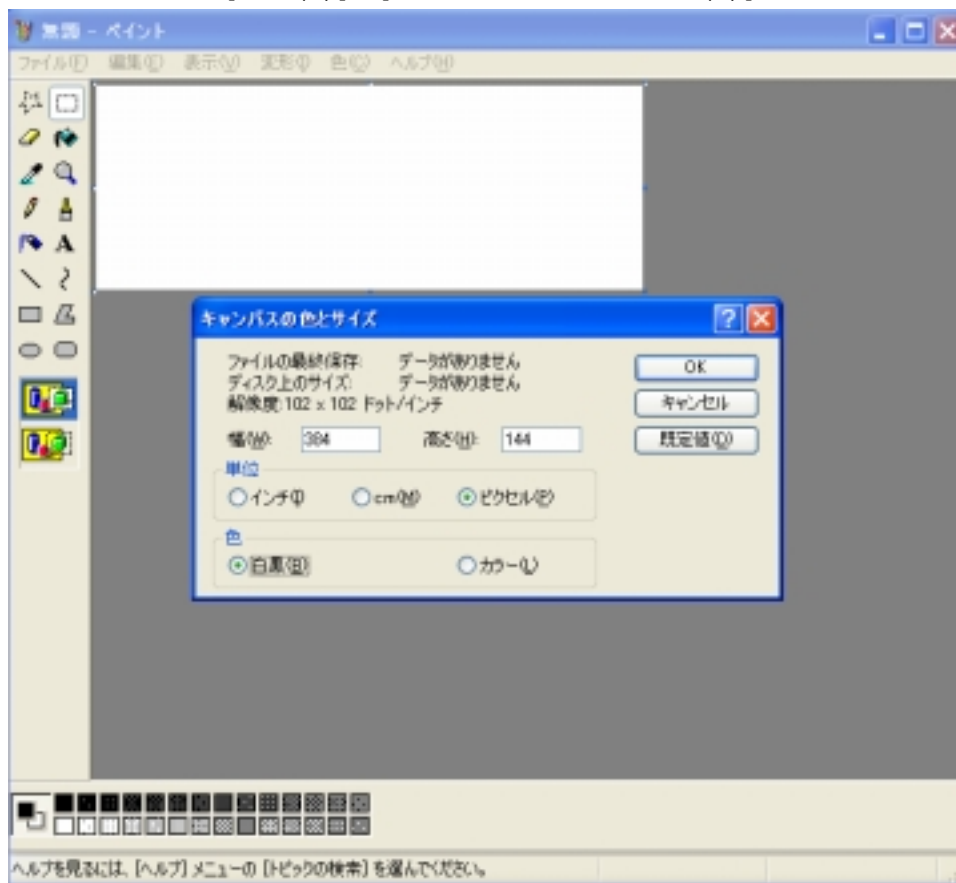
### 1. JET650LS では

店名ロゴ:縦 144 横 384 ピクセル

店名スタンプ:縦 120 横 384 ピクセル

とビットマップのサイズが決まっています。

ペイントブラシの[変形(I)] [キャンバスの色とサイズ(A)]でサイズ変更します。

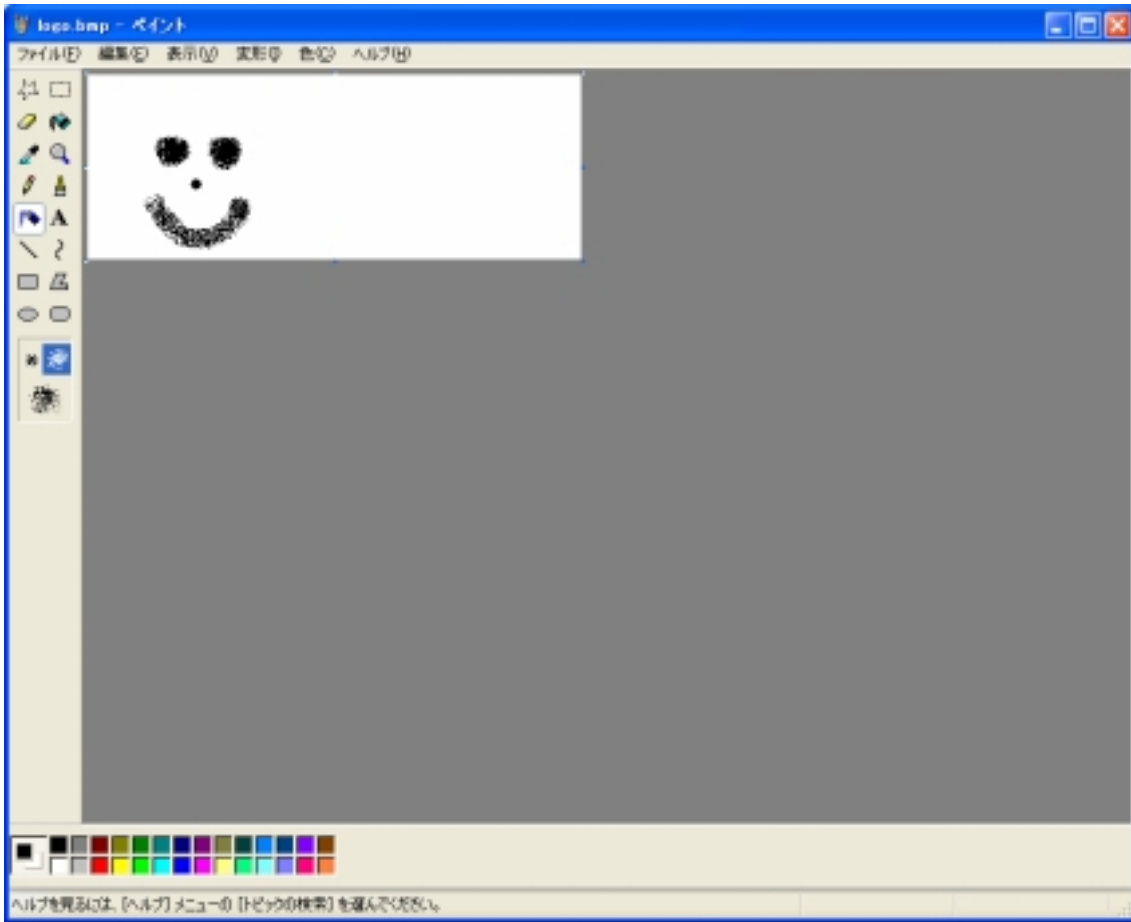


今回は店名ロゴを作成しようと思いますので

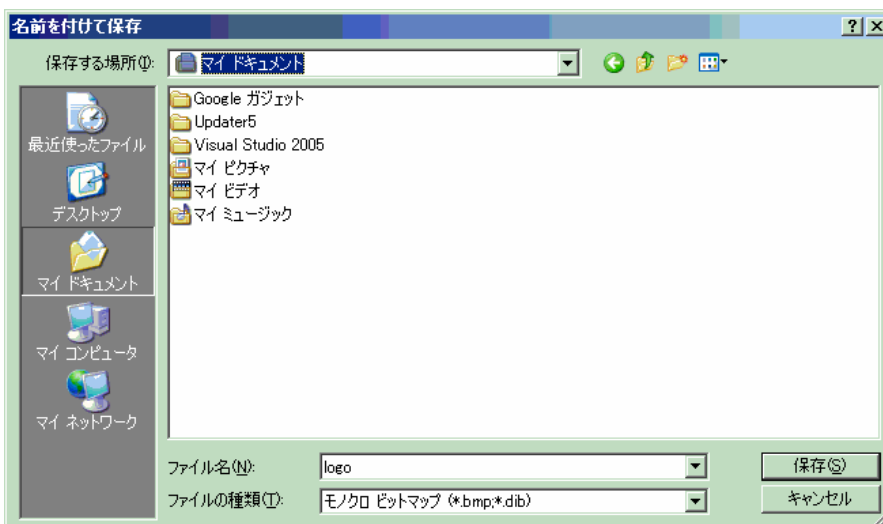
サイズは[幅]を384、[高さ]を144にして[単位]をピクセルにします。

また、色を”白黒”にしておくことをお勧めします。

(カラーのビットマップも PcTool で取り込めますが、ECR のグラフィックデータへ変換する際に白黒に変更されますので、色の部分が黒く塗り潰される可能性があります。)



作成したビットマップをファイルに保存します。



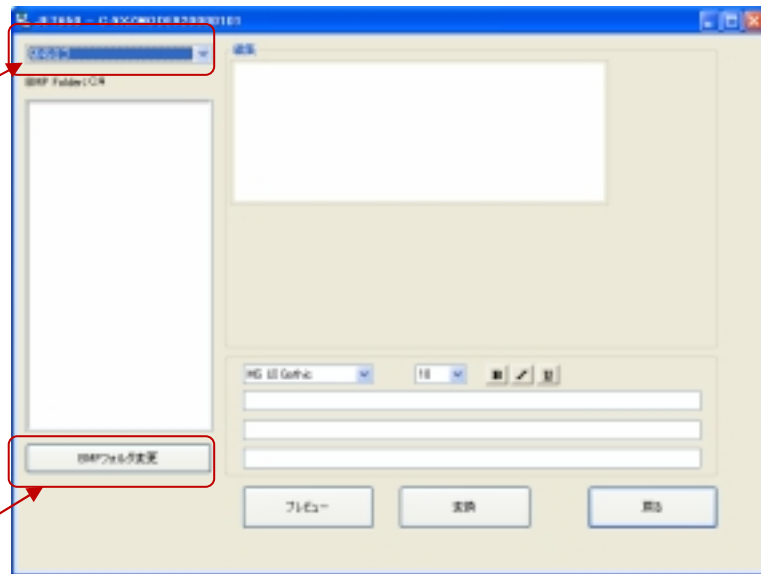
今回は logo.bmp というファイル名で c:¥PRGMODE に保存します。

[ファイルの種類(T)]がモノクロビットマップになっていない場合はモノクロビットマップで保存して下さい。

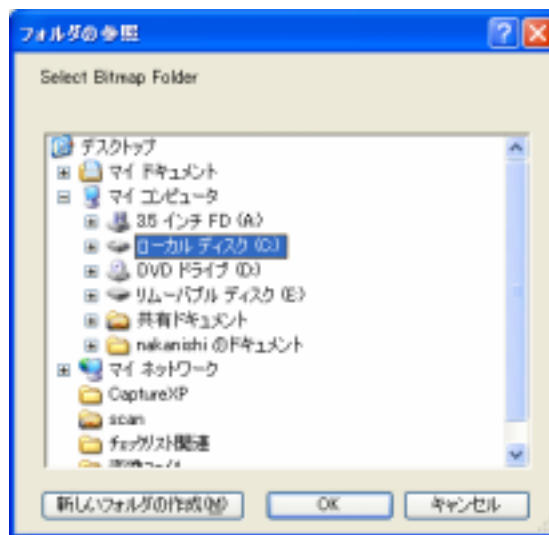
(前述したようにカラーはグラフィックデータ変換時に色が潰れる可能性があります。)

PCTool を立ち上げて[ロゴ]ボタンからロゴ画面を表示します。

初めに  
[店名ロゴ]か  
[店名スタンプ]  
どちらを作成するか  
決めます。  
(今回は店名ロゴを  
作成します)

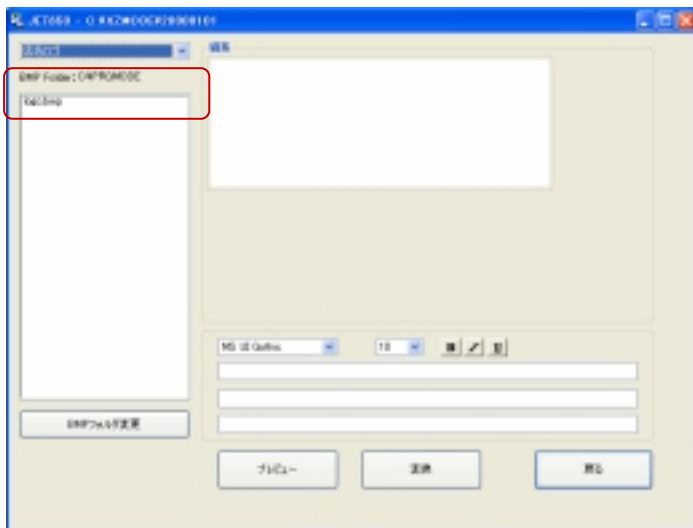


次に BMP フォルダの  
変更を押して  
挿絵とする BMP が保存されているフォルダに変更します。



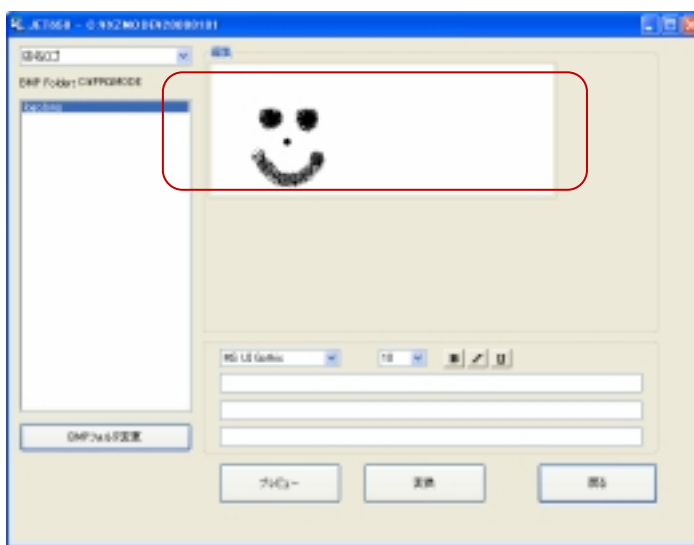
今回は C:¥PRGMODE に保存しましたので C:¥PRGMODE を選択し OK を押します。

作成した logo.bmp が  
BMP 選択リストに  
表示されます。



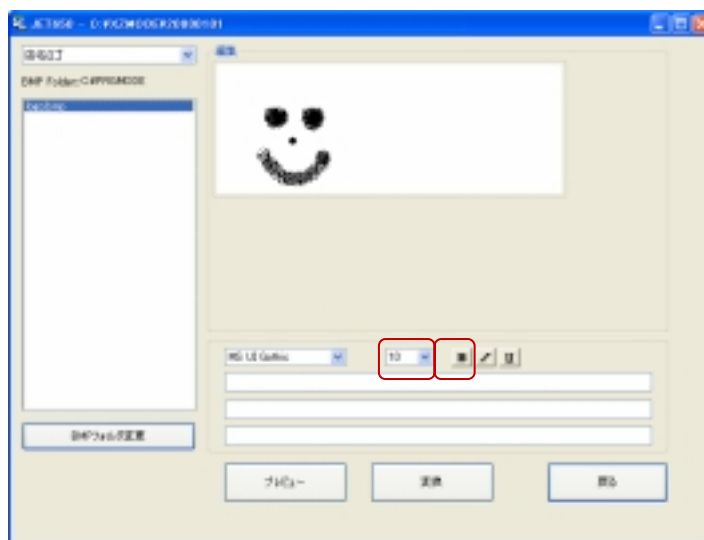
Logo.bmp を選択すると、  
編集エリアに内容が表示  
されます。

今回はサイズを調整して  
ビットマップを作成しまし  
たが、大きなビットマップの  
場合は、はみ出した部分はカ  
ットされます。

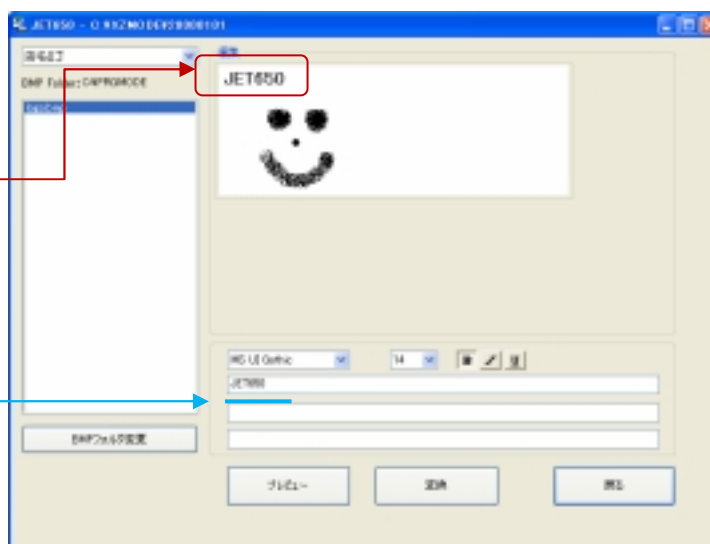


画像の中に JET650 という文字も  
14 ピッチボードで入力してみ  
ます。

まずフォントサイズリストから  
14 を選択し、ボードボタンを  
押します。

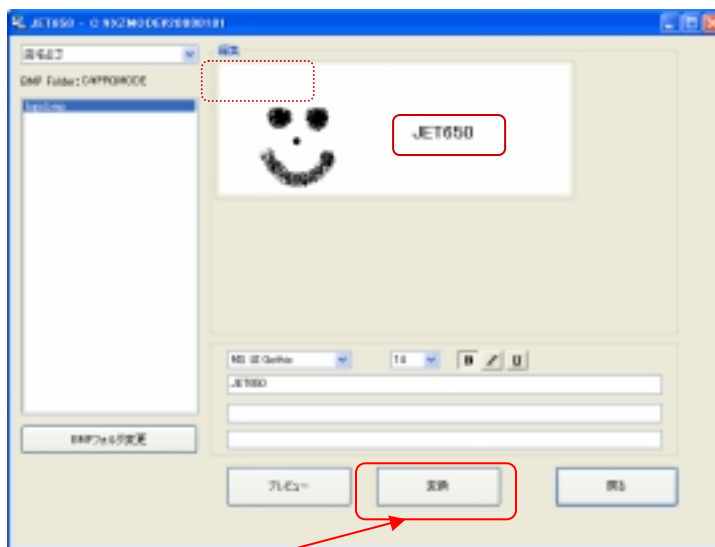


次に入力フィールド 1 に  
JET650 と入力すると、編集エ  
リアにサイズ 14 の Bold (太字)  
で JET650 と表示されます。  
(入力フィールド 2,  
入力フィールド 3 でも結構で  
す。最大 3 つの文字列を入れる  
ことができます。





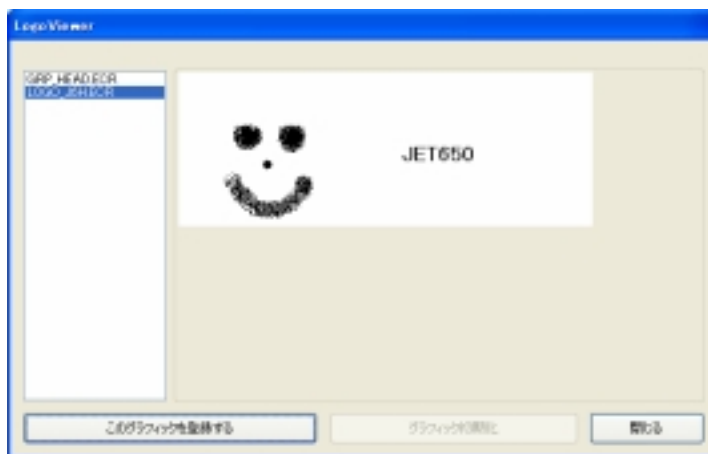
編集エリアに表示された  
JET650 の上にマウスポインタ  
を持っていくと+に変わります。  
その状態でマウス左ボタン押しっぱなし(ドラッグ)にして  
好きなところに移動します。



これで作成する画像が  
できましたので変換ボタンを押下し転送イメージを作成します。

A

変換が開始されプレビュー  
が自動的に表示されます。  
変換に失敗すると  
エラーが表示されます。  
(エラーに関しては [表 2  
変換時のエラー一覧]を参照  
して下さい)



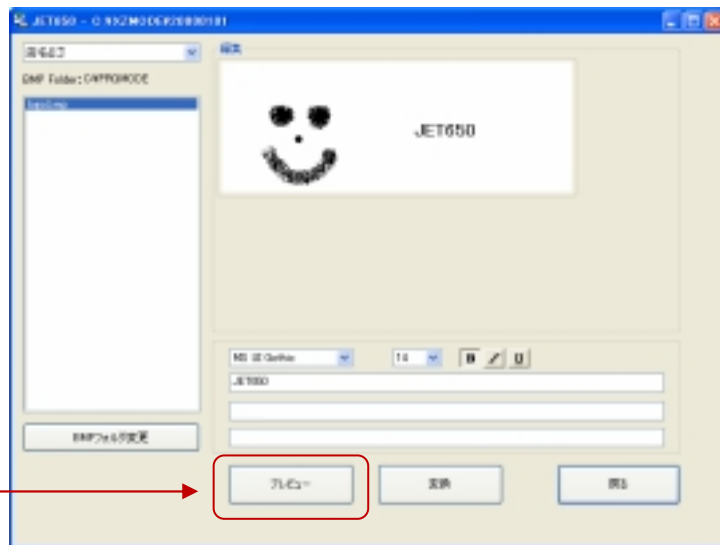
A

[このグラフィックを登録する]ボタンを押下し転送イメージとして確定します。その後、[閉じる]ボタンを押下し<ロゴ>画面に戻ります。

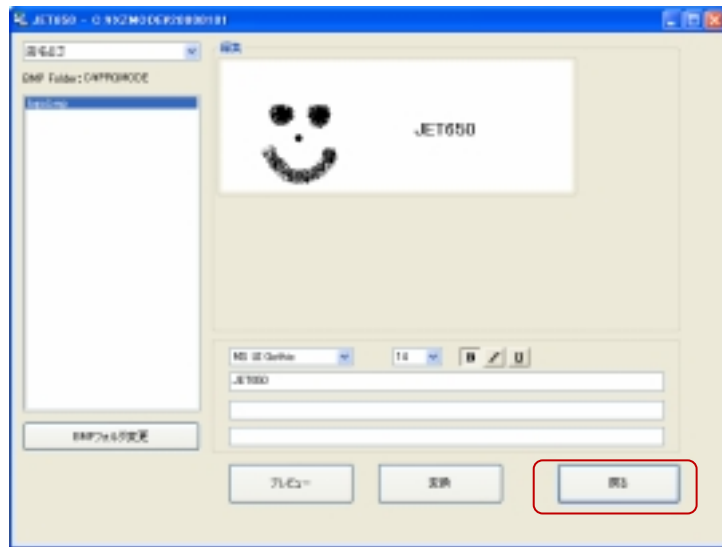


**これを押さなければ  
転送イメージとしては  
確定されません。**

ボタンを押さずに戻った場合でも、転送イメージは削除されることはありませんので、  
[プレビュー]ボタンを押下して転送イメージをプレビューしなおすことができます。



<ロゴ>画面の[戻る]ボタンを  
押下して<選択>画面に戻ります。



このままSDカードをPCより抜く操作を行います。  
SDカードをECRに接続しロゴのロードを実行してください。  
ECRによってヘッダーロゴを印字する/しないの設定が必要になります。  
詳細はECR取説をご参照ください。

## 変換時のエラー

Code	内容
08010000H	変換元ファイルのオープンに失敗
08020000H	変換元ファイルの読み込みに失敗
08030000H	変換先ファイルの作成に失敗
08040000H	変換先ファイルの書き込みに失敗
F0010000H	変換アプリを使用中

**表 2 変換時のエラー一覧**

08010000H～08020000Hが表示された場合、選択したBMPフォルダのハードディスクドライブの未使用領域がほとんどなくなっている状態でないか確認して下さい。

F0010000Hが表示された場合、本ソフトを複数立ち上げ、同時に変換を行っている可能性があります。